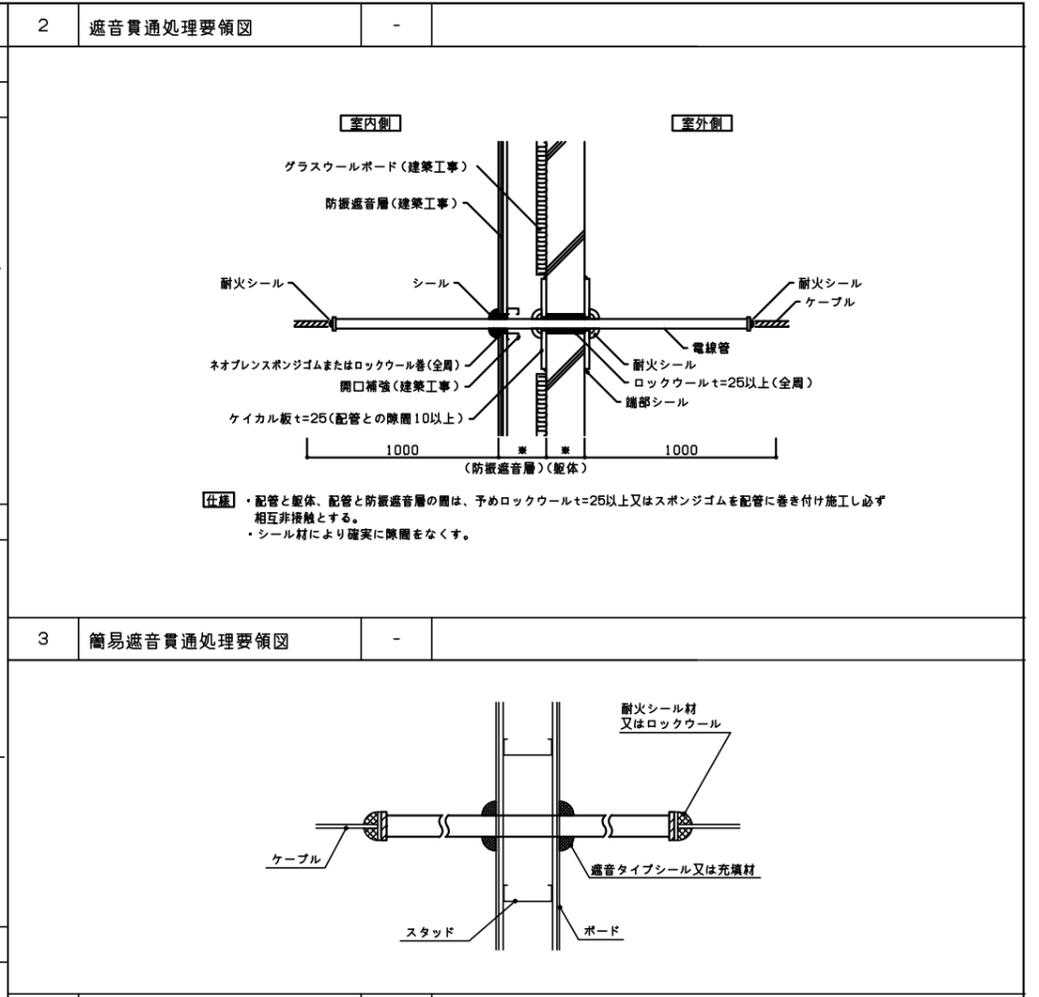
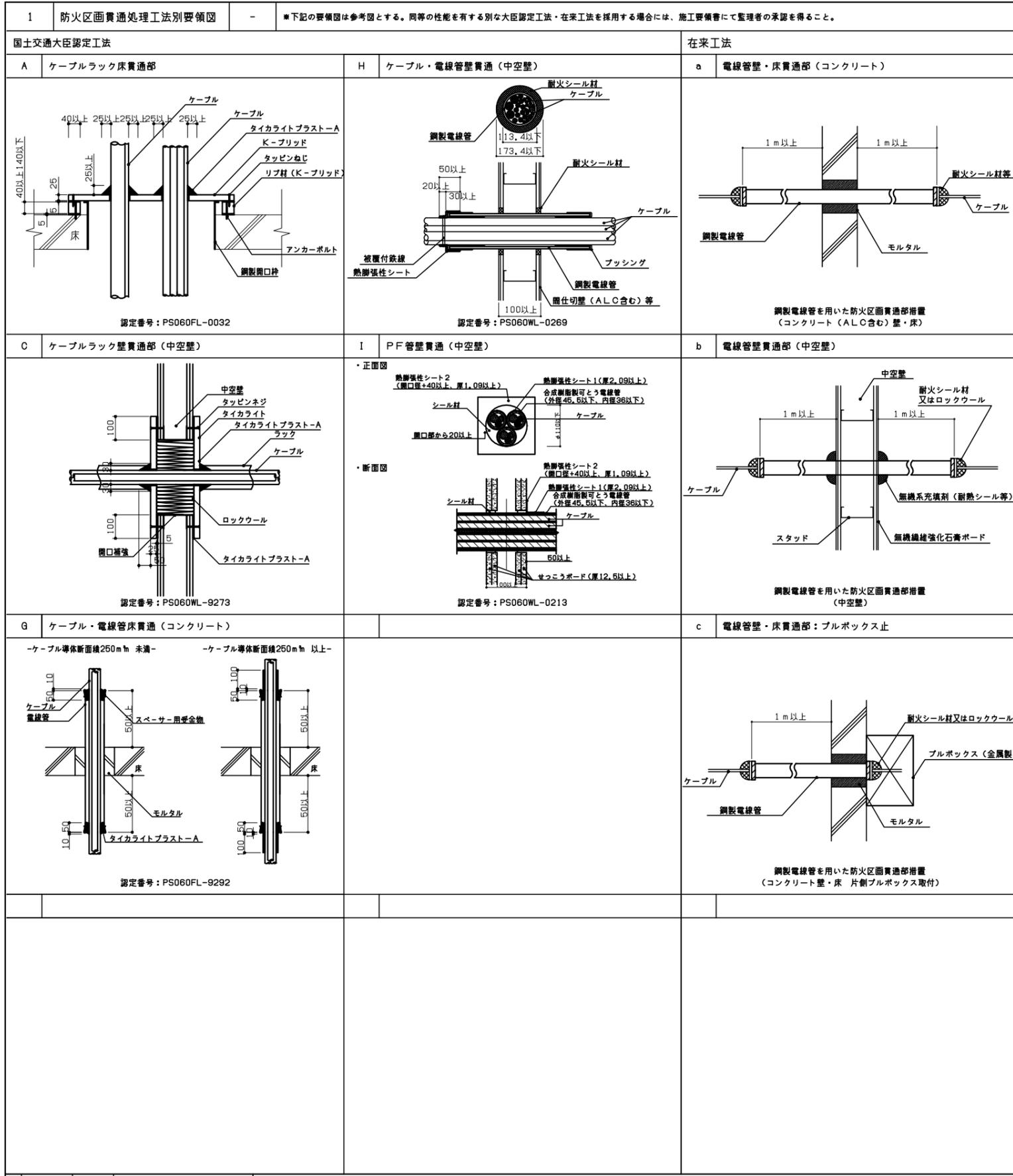


1	特記仕様書(1)	-																
特記仕様書の適用		追補																
<p>a.特記事項は、○印の付いたものを適用する。この場合●印があっても、それは適用しない。ただし、○印のない場合は、●印の付いたものを適用する。また、○印と●印の両方が付いた場合は、両方とも適用する。</p> <p>b.各章の章・節・項の番号は、公共建築協会編「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款に適合した 工事共通仕様書 平成28年版」(以下、共仕という)及び国土交通省大臣官房官庁官庁部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、機械設備工事編)平成28年版」(以下、改修仕様という)の当該番号に対応する。</p> <p>c.章・節・項のタイトル部分に示される注記の意味は、次にによる。なお、□ はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、[] は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。次に例示する。なお、[付加M]等のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。</p> <p>1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定全体を特記仕様書(以下、特仕という)の当該規定と置換する。</p> <p>2) (b)(2)置換: 共仕・改修仕様の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。特仕本文で置換内容を示した場合は、[置換]とする場合がある。</p> <p>3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。</p> <p>4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を号単位で追加する。ただし改修仕様の当該号が明らかな場合は、(c)付加のように表示することもある。</p> <p>5) [追補]: 共仕・改修仕様にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。</p> <p>d.特仕において、共仕又は改修仕様の項番号を引用する場合は、“共仕[○.○.○]”、“改修仕様[○.○.○]”等と表記する。</p> <p>e.共仕・改修仕様及び特仕において、共仕又は改修仕様の項番号等を引用している場合で、引用された共仕又は改修仕様の規定に対して特仕で追加、改訂等を行っている場合は、それらも併せて適用する。</p> <p>f.特記事項に示す(表・) (図・) の番号は、共仕又は改修仕様の当該表又は図の番号を表す。</p> <p>g.建築工事の特仕の[8章]耐震改修工事の規定は、耐震改修工事のほか、それ以外の構造建築工事にも適用する。ただし、他の特記により適用を除外されるものは除く。</p> <p>h.特仕の1.5.7(電気)、1.5.8(機械)の「化学物質の濃度測定」の特記内容と建築工事の特記[2章 シックハウス対応]の内容に相違がある場合は、建築工事の特記が優先する。</p>		<p>(20)「監理者に提出」とは、受注者等が監理者に対し書面(施工図を含む)、見本又はその他の資料等を説明し、日付を明記し押印のうえ、差し出すことをいう。なお、工事約款の規定により、当該提出が発注者への提出事項となる場合がある。</p> <p>8)「自主検査」とは、受注者等が工事の各段階で、材料又は施工等について設計図書等との照合、確認等を行い、その適否について自ら判断し、検査記録を作成して監理者に提出することとする。</p> <p>9)「製造者」とは、工事に組み込まれる機器、材料、製品等を製造、製作している会社等であり、共仕及び仕様における「製造者」「製作者」は、いずれも「製造者」に読み替える。</p> <p>10)「専門工事業者」とは、設計図書等で定める工事において、高い技術力と施工品質管理能力及び豊富な実績を持ち、受注者のもので単独で責任施工を請け負う能力があり、また施工品質の保証を行うことができる工事業者をいう。</p> <p>11)「材料」とは、工事に使用する機器、材料、製品を総称していう。</p> <p>12)「関連工事」とは、発注者の発注にかかるとする工事のうち、この工事と直接に関係するものをいう。ただし、この工事の発注者以外の発注によるほかの工事であっても、見積書等指定した工事、関連工事として扱う。</p>	<p>c.発注者、設計者及び監理者の承認、検査、確認等は、前 a、b 号に基づいて実施するため、発注者、設計者又は監理者が承認、検査又は確認した対象範囲であっても、承認、検査、確認等の対象として抽出されなかったもの又は提出されなかったものに起因する、あるいは受注者等による自主検査で発見できていなかった内容等に起因する次の事項については、その修繕等の責は受注者等が負う。</p> <p>1)材料、製品、機器及びそれらの施工が工事請負契約、工事用図書に適合しない場合</p> <p>2)施工に用いられた又は工事的に組み込まれた材料、製品、機器の欠陥又はこれに類する原因による品質、性能、安全上の不具合がある場合</p>	<p>5)先行施工</p> <p>※しない・する(設計図による)</p> <p>先行施工とは、工事的な部分のある部分で、その施工方法、取合い、出来ばえ等を確認するために、他の関係部分の着手を先立って、承認された施工図、施工計画書のとおり先行施工することとする。先行施工された部分は、原則として本設として使用する。</p> <p>f.総合図、施工図、模型、モックアップ、見本等を監理者に提出するに当たっては、あらかじめ、それらの内容を設計図書等と十分照合し、それらが設計図書等に適合していることを確認する。</p> <p>g.施工図調整担当者は、本工事に類似の工事での施工図調整経験が豊富でかつ、次により置く(作図)の担当者は含まない。ただし、次のいずれの場合であっても、着工後直ちに施工図調整体制を立ち上げ、その体制、運用、並びにコスト調整のタイミングとその方法等監理者と協議する。</p> <p>※受注者の判断と責任により、適切となる必要人数を置く。</p> <p>() 号以上。本工事に専任とする。</p> <p>h.設備機器の位置、取合いなどを検討するために、次の内容を指示施工図を作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>※既存鉄筋コンクリート部における新設貫通孔の補強及び新設開口部の型枠、補強</p> <p>※既存防火・防煙区画の貫通部の処理</p> <p>※既存壁や天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強</p> <p>※駆動装置が電動となる建具類の二次配線及び操作スイッチ</p> <p>※自動閉鎖装置取付け箇所の既存部材の切込み及び補強</p>														
1章 一般共通事項																		
1節 一般事項																		
1.1.1 [置換] 適用範囲		<p>a.共仕及び改修仕様は、建築物等の模様替え及び修繕(以下、改修という)にかかわる建築工事に適用する。</p> <p>b.共仕及び改修仕様で規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。</p> <p>c.改修仕様の[2章]以外の各章は、共仕[1章]と併せて適用する。</p> <p>d.改修仕様の[2章]以外の各章において、一般事項が[1節]に規定されている場合は、[2節]以外の規定と併せて適用する。</p> <p>e.契約図書は、次のとおりとし、相互に補充するものとする。ただし、契約図書に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(13)の順番のとおりとし、これによりがたい場合は、共仕[1.1.7]による。</p> <p>(1)工事請負契約書</p> <p>(2)民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款(平成29年(2017)12月改正)以下、工事約款という</p> <p>(3)質問回答書(4)から(11)に対するもの、追加変更指示書</p> <p>(4)見積書、現場説明書</p> <p>(5)改修特仕及び工事概要書</p> <p>(6)建築物解体工事特記仕様書(以下、解体特仕とい、解体工事が伴う場合に適用する)</p> <p>(7)設計図書(以下、改修特仕各所における「設計図」も同様とする。)</p> <p>(8)見積区分表</p> <p>(9)日建設計 提出書類作成要領・受注者検査要領17</p> <p>(10)共仕(1章のみ)を適用する。ただし、1.3.12(発生材の処理等)は適用しない。</p> <p>(11)改修仕様(1.3.12(発生材の処理等)を除き、1章は適用しない。)</p> <p>(12)国土交通省大臣官房官庁官庁部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版(以下、解体共仕という)</p> <p>(13)仕様(1章は適用しない)</p>	<p>1.1.6 [付加] 別契約の関連工事</p> <p>a.別に定めのない限り、関連工事の受注者に対し、次のものについて便宜を供与する。これらに要する費用の負担は、この工事の見積書等及び見積区分表(工事区分表)の記載によるほか、当該関連工事の受注者と協議し、対応する。</p> <p>1)関連工事を行う場所への出入り及び安全管理。</p> <p>2)足場、運搬設備、搬送設備、工事用電力、工事用給排水等の利用。</p> <p>3)障害となる仮設物の取除き、貫通孔等の設置、ボルト・インサート等の取付け。</p> <p>4)関連工事用の機器、材料の取込みに必要な搬入口、通路等の設置、確保。</p> <p>b.施工図、施工計画書等の作成に際し、関連工事との取合い、納まり等について必要な記載を行う。</p>	<p>1.1.7 [付加] 設備に関する協議等</p> <p>a.設計図書等に記載されていない見え隠れ部分に不具合が認められた場合は、共仕[1.1.7]及び1.1.13による。</p>	<p>1.1.12 [付加] 関係法令等の遵守</p> <p>a.工事によって機能停止する防災設備については、代替措置等を事前に消防署等の関係官公署と協議のうえ、工事中の防災計画書としてまとめ、関係官公署に提出する。また、その内容については、必ず発注者及び建物管理者に伝達し了解を得るとともに、監理者に報告する。</p>	<p>1.1.13 [追補] 設計変更</p> <p>a.共仕[1.1.7](b)に該当する場合、並びに発注者による工事内容の変更又は工期の変更があった場合は、設計変更とし、b、c号による。</p> <p>b.設計変更の通知を受けた場合は、請負代金額の増減を明示した請負代増減内訳書(以下、増減内訳書という)を監理者を通じて発注者に提出し、発注者の承認を受ける。発注者の承認を受けた増減内訳書は、監理者の確認を受け、そのうち工事の着手を行う。なお、設計変更範囲における増減調整で請負代金額が変更とならない場合も、同様に行う。</p> <p>c.設計変更の内容確定に必要な図面、書類等の作成について、協力を行う。</p>	<p>1.1.14 [追補] 工事に付帯する作業、材料</p> <p>a.本工事を完成させるために必要な次の作業及び費用は、工事請負契約に含まれる。</p> <p>1)施工、材料及び製品の検査、試験(支給材料、貸与品の場合の検査、試験を除く)、見本等の作成、検査に要する費用</p> <p>2)敷地周辺において施工計画に必要な、橋脚、側溝、舗装、外灯、樹木、設備設置ほか各種施設等の移設と復旧</p> <p>3)工事期間中の、工事に付帯する作業に関する官公署その他関係機関の手続き及びその費用</p> <p>4)工事用機器、材料等の取入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれに伴う補強、復旧、後片付け</p>	<p>1.2.2 [付加] 施工計画書</p> <p>a.総合施工計画書は、工事全体を通じて受注者等が行う工事組織の編成と運用、工事現場の整備と維持、工事請負契約に基づく監理者への対応等について、本工事に適用の条件に適合した具体的な方策を定めたものとし、「提出書類作成要領」により作成する。また、監理者が監理方針書を作成した場合は、それに基づいたものとする。</p> <p>(c)工種別の施工計画書は、「提出書類作成要領」により作成し、監理者に提出する。このうち設計図書に定めるもの、あるいは監理者の指示するものについては、監理者の承認を受ける。</p> <p>[付加] c.施工要領書は、受注者等が機器・材料製造者、専門工事業者等と協議のうえ、施工計画書記載の各項目を実行するための詳細要領を定めたもので、監理者が指示した場合は、これを監理者に提出する。</p> <p>[付加] d.施工計画書は、当該工事における改修工事特有の計画内容(仮移転、引越し等を含む)、施工手順、施工方法(解体、撤去を含む)、確認方法、設備の切回し、仮設電源、予測される事故とその予防策、対応策等を含む。</p>	<p>1.2.3 [付加] 施工図等</p> <p>a.施工図の作成に先立ち、「提出書類作成要領」により総合図を作成し、監理者に提出する。</p> <p>b.総合図の作成に先立ち、基本的納まり、特殊な納まり、関係工事等との調整を必要とする事項、その他監理者の指示する事項について、基準施工図を作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>c.施工図は、「提出書類作成要領」により、総合図及び基準施工図に基づいて作成する。</p> <p>d.監理者の指示する現寸図、型紙等は、施工に先立つ適切な時期に作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>e.模型、モックアップ、モデルルームの作成、見本施工、先行施工は、次による。これらの実施時期の記載がない場合は、施工に先立つ適切な時期に実施するものとし、監理者と協議する。これらの確認、承認の扱いは、1.4.2による材料見本に準ずる。</p> <p>1)模型の作成</p> <p>※しない・する(設計図による)</p> <p>2)モックアップの作成</p> <p>※しない・する(設計図による)</p> <p>モックアップとは、工事的な部分のある部分の設計意図と内容を確定するための実物大模型又は縮尺模型のこととする。使用材料は、本設と同じでなくともよく、監理者との協議による。また、設置場所についても監理者との協議による。</p> <p>3)モデルルームの作成</p> <p>※しない・する(設計図による)</p> <p>モデルルームとは、設計品質を確定するために工事的な部分の一室又は室の一部を試作することを行い、原則として仕様は設計図書等による。設置場所については、発注者及び監理者との協議による。モデルルームは、本設として使用しない。</p> <p>4)見本施工</p> <p>※しない・する(設計図による)</p> <p>見本施工とは、工事的な部分のある部分で、その施工方法、取合い、出来ばえ等を確認するために、承認された施工図、施工計画書のとおり先行施工することとする。場所、仕様については、本設と同じとするが、見本施工は、原則として本設として使用しない。</p>	<p>1.2.4 [付加] 工事の記録</p> <p>a.検査、試験又は設計図書等に定められた確認等を行った場合は、終了後速やかに記録を作成し、発注者又は監理者に提出する。</p> <p>b.発注者又は監理者の検査(受注者の品質管理記録等の確認による検査を含む)又は施工、試験等への発注者又は監理者の立会いを受けた場合は、終了後速やかに記録を作成して発注者又は監理者に提出する。</p> <p>c.工事写真は、国土交通省「官庁工事写真の撮り方(平成28年版)」に準じて撮影、整理する。</p>	<p>1.2.6 [追補] 工事着手時及び工事期間中の提出書類</p> <p>a.工事の着手、進行に当たり、発注者又は監理者に提出する書類の種類、内容、書式等は、「提出書類作成要領」による。</p> <p>b.毎日の作業の2日前までに、作業場所、作業内容、作業時間、作業員数、作業責任者、やむを得ない火気使用予定と火災防止策等を記した作業届を発注者及び建物管理者に提出するとともに、その写しを監理者に提出する。ただし、監理者の指示があるときは、作業届の写しに代えて週間作業予定表を発注者及び監理者に提出する。なお、当該作業には建物管理者の了解を得てから着手する。</p>	<p>3節 工事現場管理</p> <p>1.3.1 [付加] 施工管理</p> <p>a.監理者が監理方針書を提示した場合は、それに基づいて工事運営及び施工管理を行う。</p>	<p>1.3.3 電気保安技術者</p> <p>a.電気保安技術者</p> <p>※適用しない</p>	<p>1.3.5 [付加] 施工条件</p> <p>a.施工時間等は、次による。</p> <p>1)設計図書等又は工事現場近隣の住民との間で交わされる工事に関する協定(以下、近隣協定という)に、作業内容、作業日、時間等についての定めがある場合は、それを遵守する。</p> <p>2)休日、祝日又は夜間に施工を行う場合は、あらかじめ理由を付した書面によって発注者及び監理者に通知する。</p> <p>b.前 a 号及び共仕[1.3.5]以外の施工条件は、次による。</p> <p>○あり(夜間工事(22:00~5:00)対象は受変電設備改修、電力・通信幹線設備工事とする。その他工事条件は翌3-4図(仮設図)による。)</p>	<p>1.3.7 [付加] 機器及び専門工事業者の選定</p> <p>a.機器・材料製造者及び専門工事業者は、設計図書等に記載されたものの中から選定し、選定届を監理者に提出する。</p> <p>b.特別の理由により設計図書等に記載された機器・材料製造者や専門工事業者以外のものを選定する場合は、選定された機器・材料製造者や専門工事業者の能力、経歴等を証明する資料を監理者に提出し、発注者及び監理者の承認を受ける。</p> <p>c.設計図書等に製造者名の記載がない機器、材料で、設計図書等に製造者の条件が示される場合は、これに適合する製造者を選定して、条件に適合することを証明する資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。</p> <p>d.設計図書等に専門工事業者名の記載がない工種について、設計図書等で「専門工事業者による」としている工種については、選定について監理者と協議する。</p>	<p>1.3.10 [付加] 災害時の安全確保</p> <p>a.災害、公害又は事故のおそれがある場合は、速やかに適切な処置を講じ、直ちにその経緯を発注者、建物管理者及び監理者に報告する。</p> <p>b.建築物を使用しながらの改修工事等において、使用中の施設の機能や発注者、居住者等の利益を損なうような事故が発生した場合の処置は、次による。</p> <p>1)直ちに、損なわれた機能の回復を図り復旧する。併せて、その経緯を発注者、建物管理者及び監理者に報告する。</p> <p>2)発注者、建物管理者及び監理者と協議のうえ、恒久的な復旧策を立案し、監理者の承認を受けたうえで、復旧策を実施する。</p> <p>3)事故再発防止策を立案し、発注者、建物管理者及び監理者に報告する。</p>	<p>1.3.11 [付加] 施工中の環境保全等</p> <p>a.音や振動を伴う作業については、騒音、振動が少ない工具、機器を採用した施工方法を選定するとともに、テスト施工を行って、建物使用者や周辺への影響を調査する。なお、これらの作業は、騒音、振動によるほか者への影響の少ない時間帯に行うことを原則とする。</p> <p>b.コンクリートはつり、撤去、解体、片付け等で室内に粉じんが発生する場合は、既存の換気・空調設備を利用せず、仮設の排気設備を設け、単独で外部へ排出する。また、執務、居住ゾーンへの粉じんや臭気の流入を防ぐため、施工作業ゾーンとの境界には密閉度の高い仮設閉鎖用仕切りを設ける。</p> <p>c.施工対象外の受変電キュービクルやUPSシステム、制御システム等は、必要に応じてビニル養生シート又は合板類等で四圍及び上下面を囲み、プリント基板やリレー類への粉じんの侵入を防止する。</p> <p>d.施工時の空調開始による粉じんの再飛散を防ぐため、あらかじめ既存空調設備を準備運転などの措置を講ずる。</p> <p>e.電気容接又は切断作業は、最小限に抑え、既存の通信情報システムの運用時間帯を外して作業を行う。</p>	<p>1.3.12 [付加] 発生材の処理等</p> <p>a.「発生材の処理」については、共仕の該当記載を適用せず、改修仕様の該当記載を適用する。改修仕様における「監理職員」は「監理者」と読み替える。</p> <p>b.引渡しを要するもの</p> <p>○なし</p>
施工			※表中の「監理者」は「監督員」と読み替える。															
竣工			※表中の「提出書類作成要領」は「監督員の指示」と読み替える。															
監理																		
施工																		
<p>近藤 彰宏 一級建築士</p> <p>玉野 和信 一級建築士</p>		<p>日建設計</p> <p>19.02.</p>	<p>山梨県立中央病院</p> <p>精神・身体合併症病棟増築工事</p> <p>電 (通し番号 1)</p> <p>1-1</p>	<p>電気設備 改修特記仕様書(1)</p> <p>No. J - 170921 - B</p>														



施工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

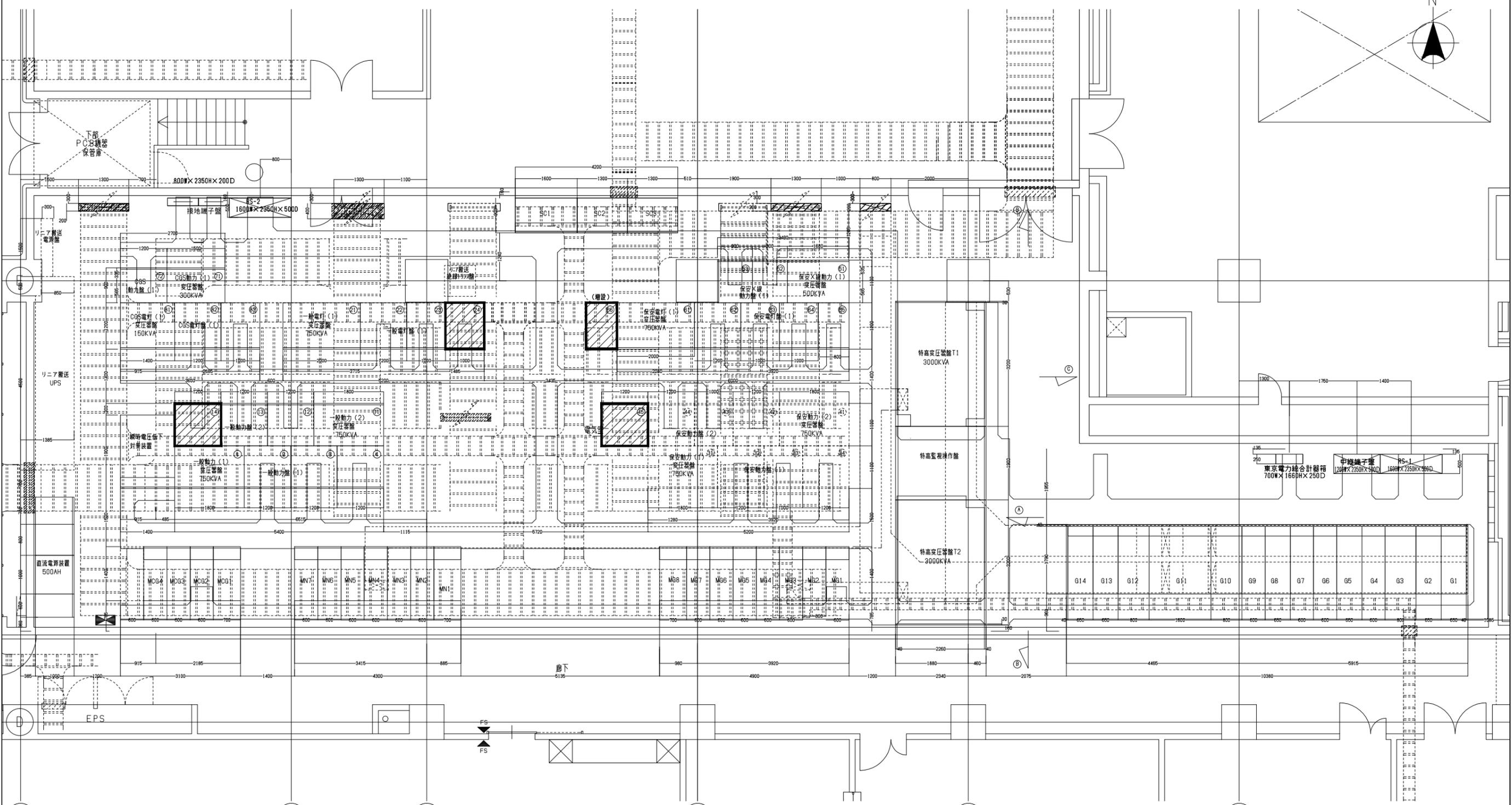
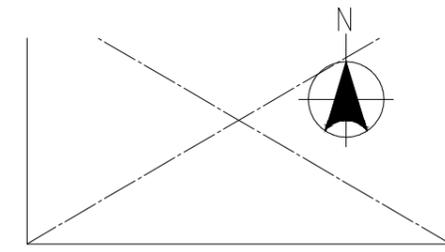
山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

電 (通し番号 5)
1 - 5

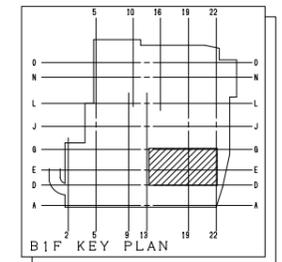
19.02.

防火区画貫通処理工法別要領図 A1:1/100
遮音貫通処理要領図、防火区画・遮音貫通位置 A3:1/200

No. J-170921-B



番号	名称	備考
⑭	一般動力MN7MCCB盤-3	
⑳	一般電灯MN5MCCB盤-3	
㉕	防災保安動力MG8MCCB盤-4	
㉖	保安電灯MG5MCCB盤-4	



施工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

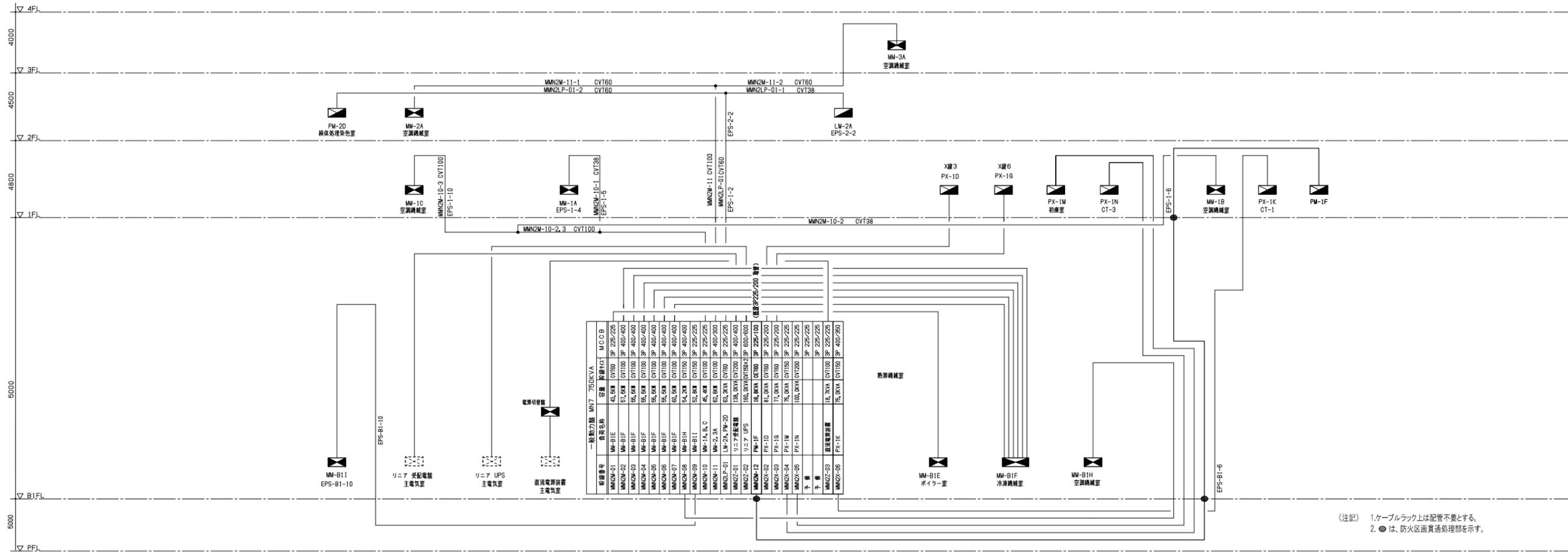
山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

Ⓢ (通し番号 8)
2 - 2

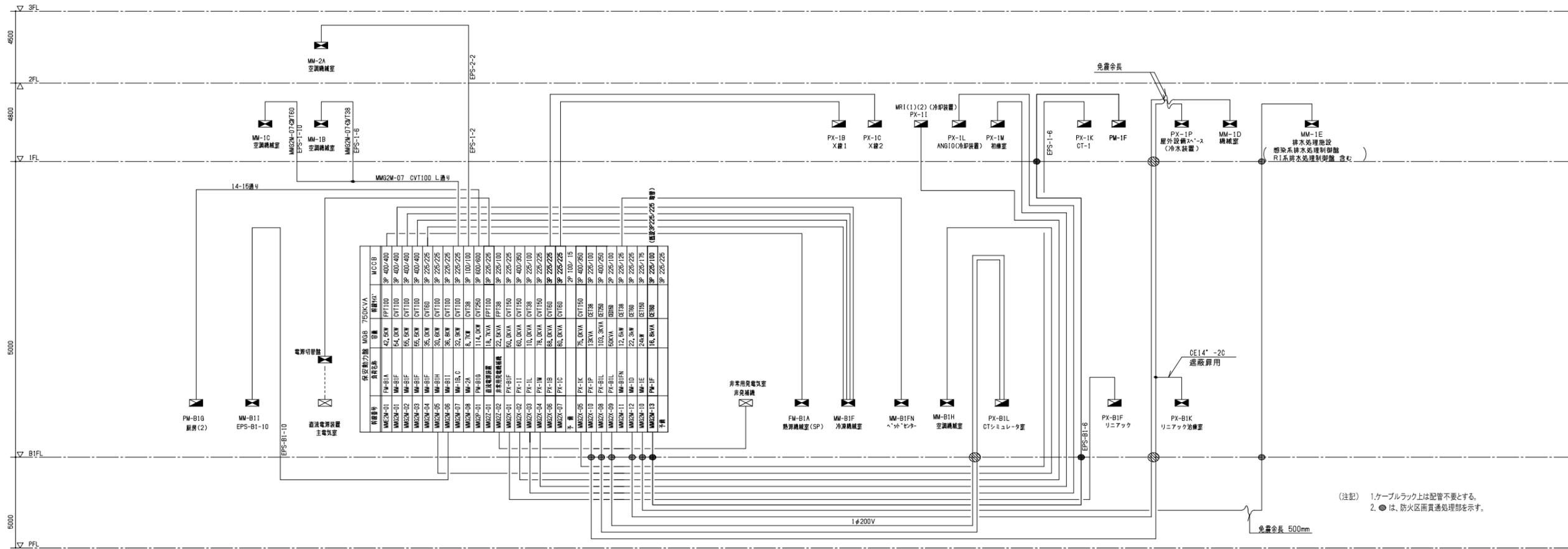
19.02.

主電気室機器配置図 (改修図) A1:1/50 A3:1/100

J - 170921 - B



(注記) 1.ケーブルラック上は配管不要とする。
2.●は、防火区画貫通処理部を示す。



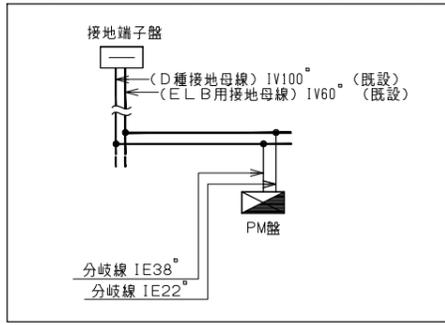
(注記) 1.ケーブルラック上は配管不要とする。
2.●は、防火区画貫通処理部を示す。

施工	
竣工	
監理	
機工	

RF
10F
9F
8F
7F
6F
5F
4F
3F
2F
1F
B1F
免震層

4,000
4,000
4,000
4,000
4,000
4,000
4,000
4,000
4,500
4,800
7,000

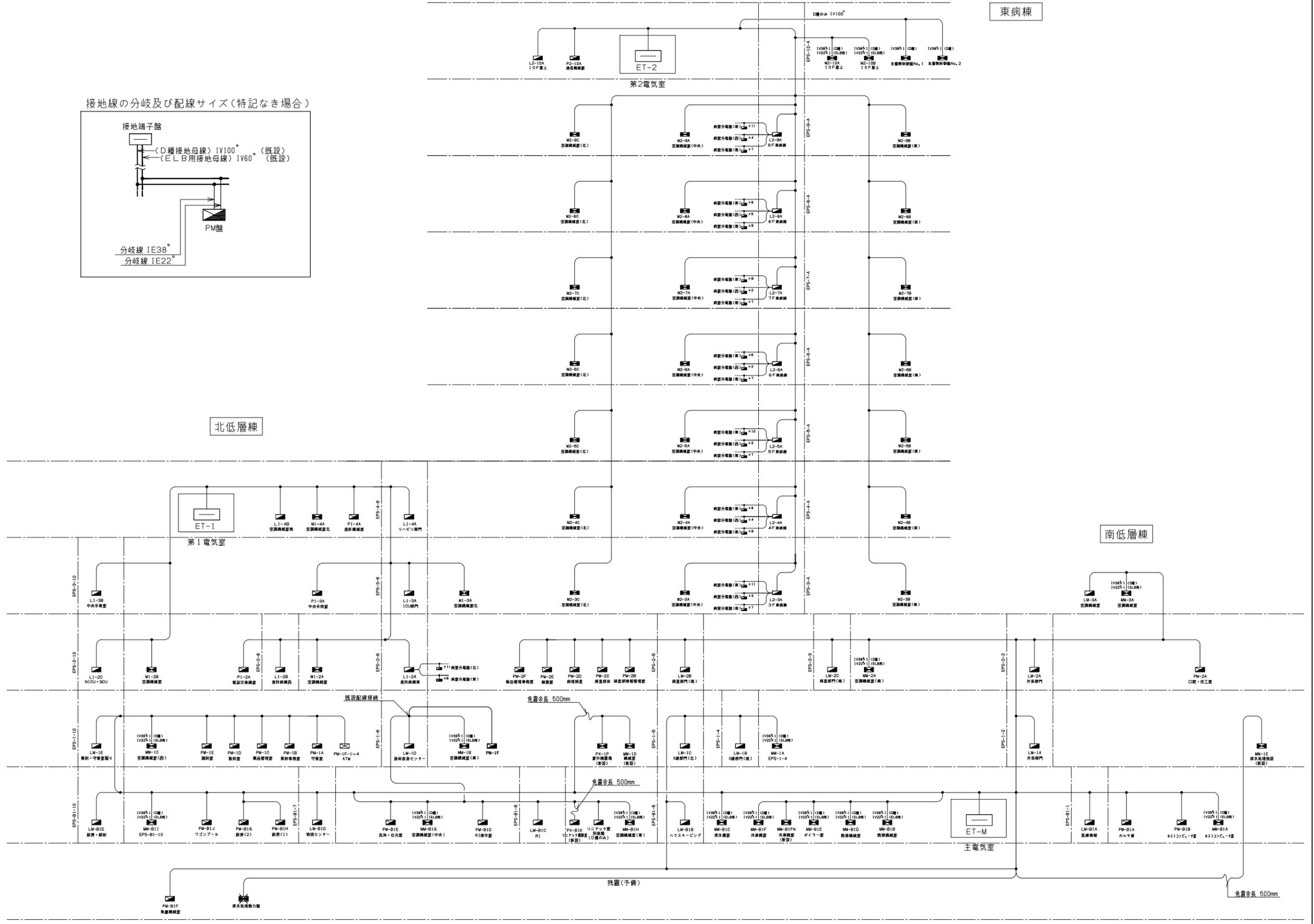
接地線の分岐及び配線サイズ(特記なき場合)



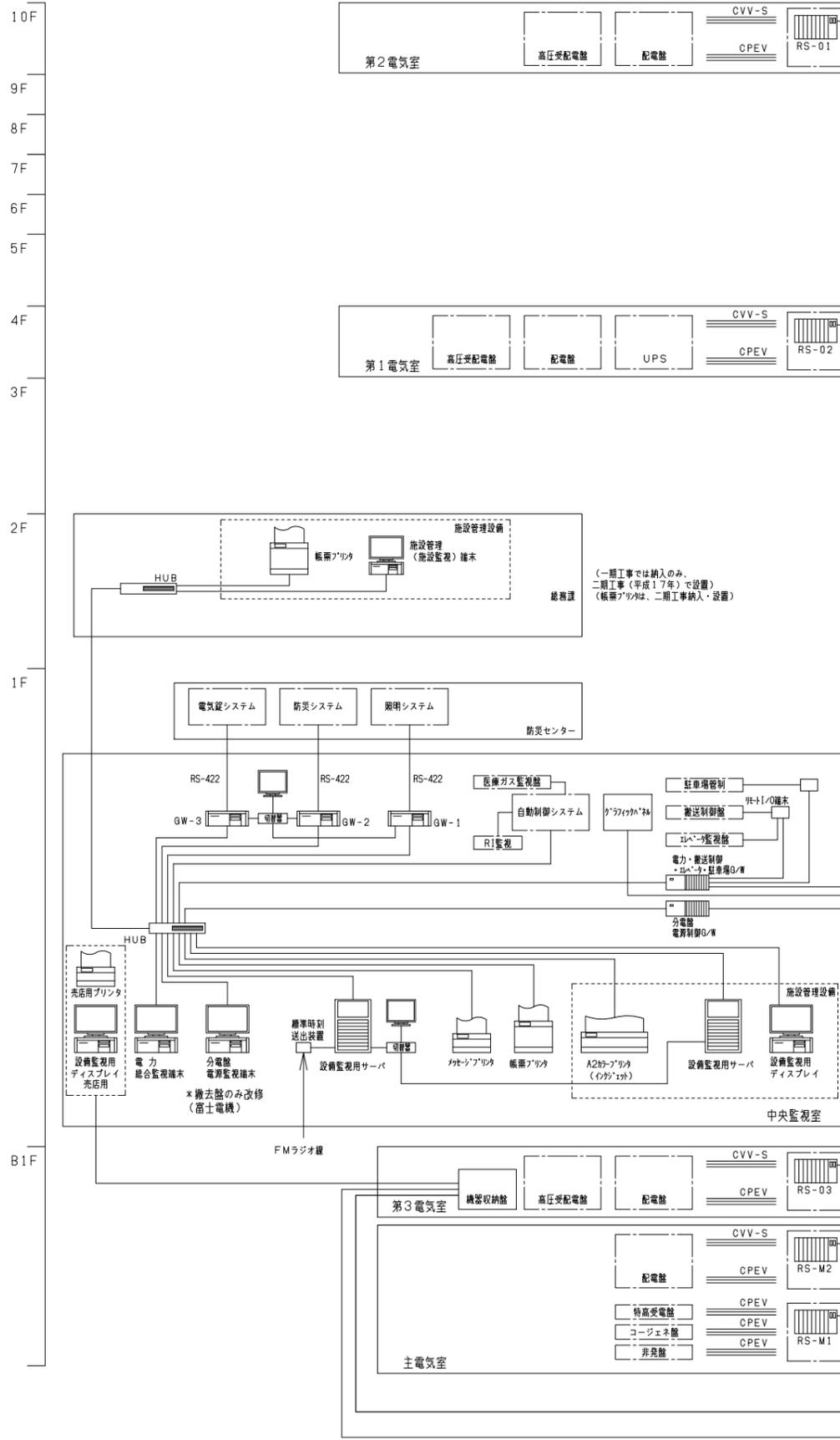
北低層棟

東病棟

南低層棟



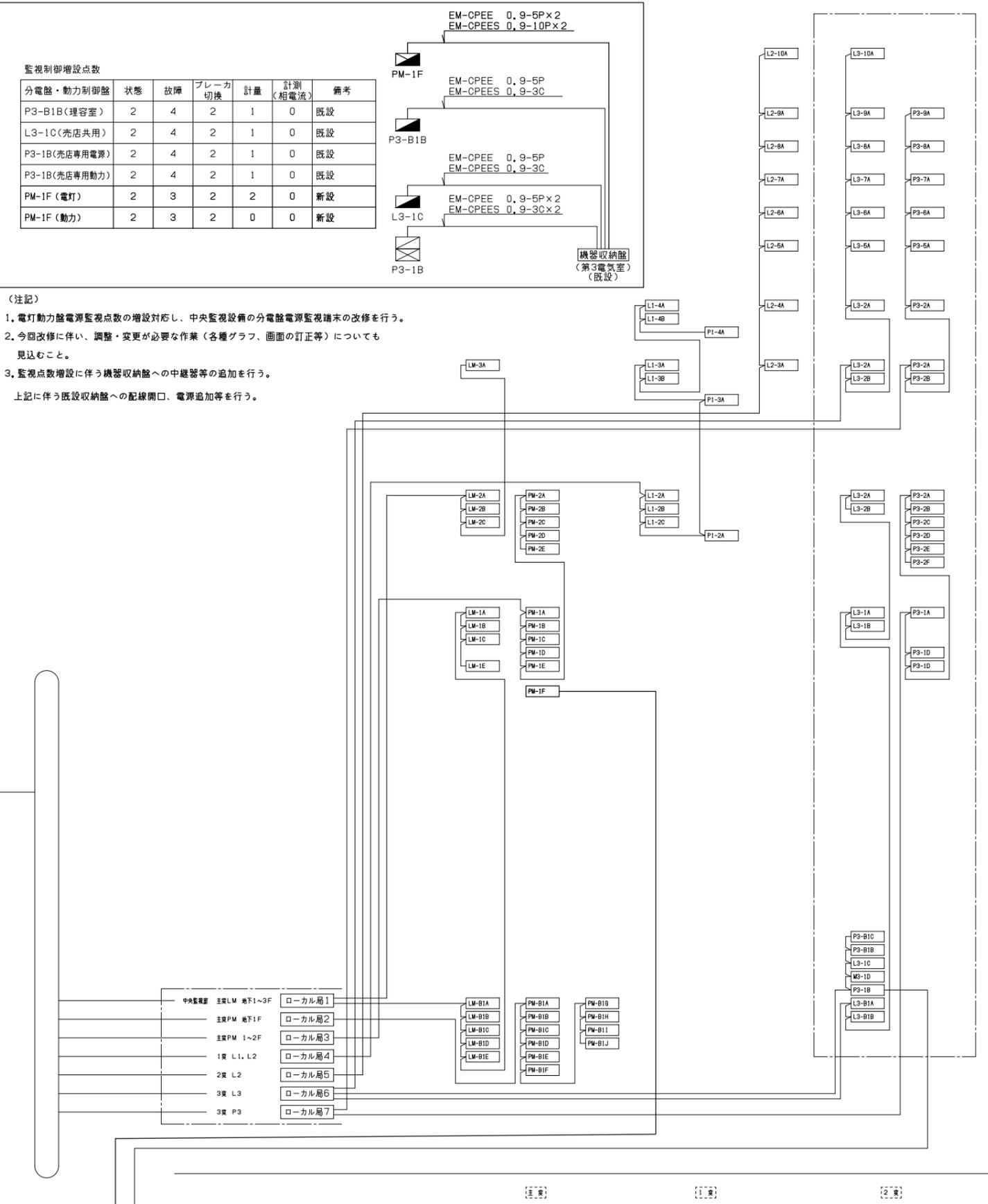
着工	
竣工	
監理	
施工	



監視制御増設点数

分電盤・動力制御盤	状態	故障	ブレーカ 切換	計量	計測 (相電流)	備考
P3-B1B(理容室)	2	4	2	1	0	既設
L3-1C(売店共用)	2	4	2	1	0	既設
P3-1B(売店専用電源)	2	4	2	1	0	既設
P3-1B(売店専用動力)	2	4	2	1	0	既設
PM-1F(電灯)	2	3	2	2	0	新設
PM-1F(動力)	2	3	2	0	0	新設

- (注記)
- 電灯動力盤電源監視点数の増設対応し、中央監視設備の分電盤電源監視端末の改修を行う。
 - 今回改修に伴い、調整・変更が必要な作業(各種グラフ、画面の訂正等)についても見込むこと。
 - 監視点数増設に伴う機器収納盤への中継器等の追加を行う。
- 上記に伴う既設収納盤への配線開口、電源追加等を行う。



審工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

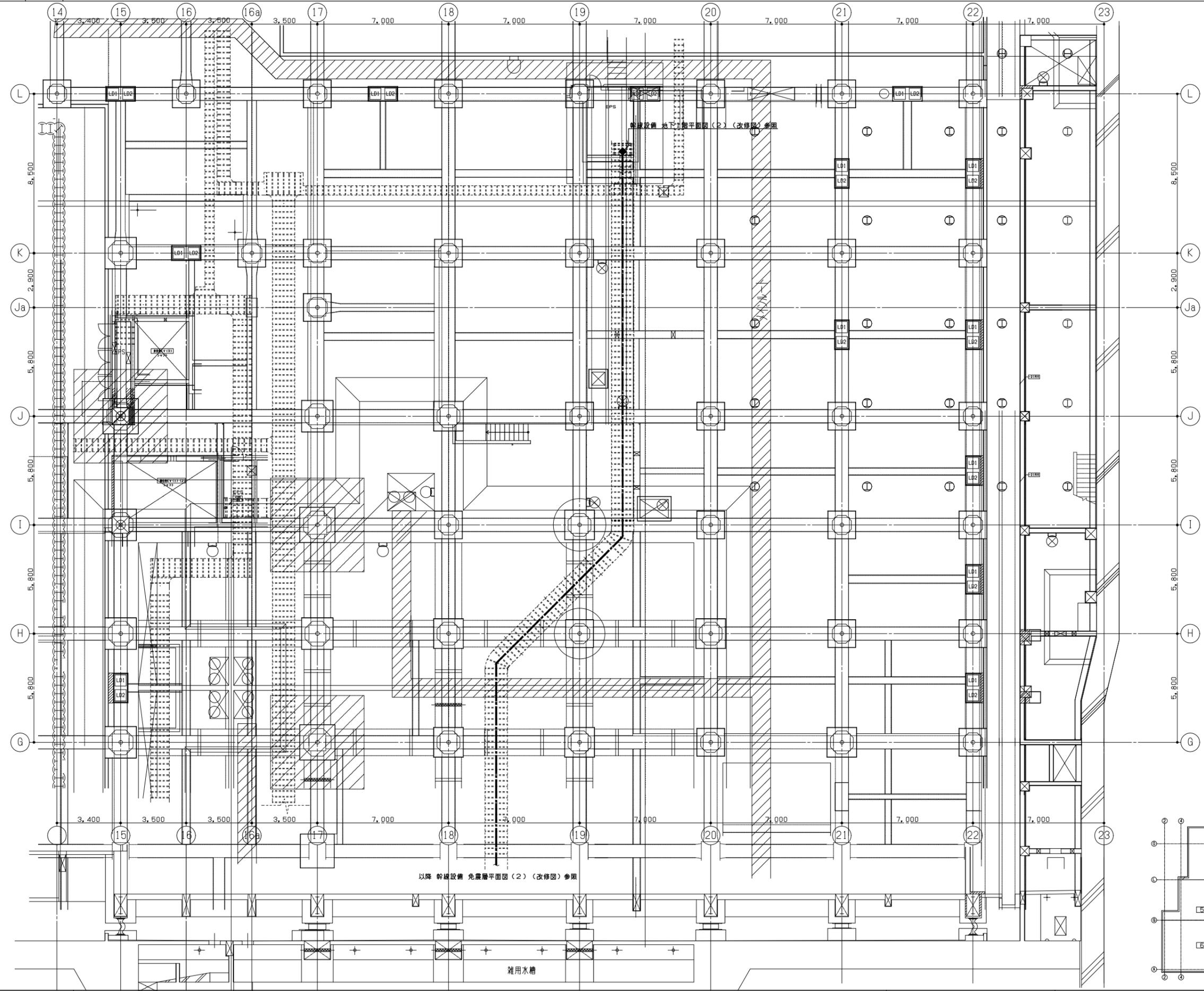
19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

施設監視設備
仕様・ポイント表・結線図

(通し番号 12)
4 - 1

№. J-170921-B



補工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

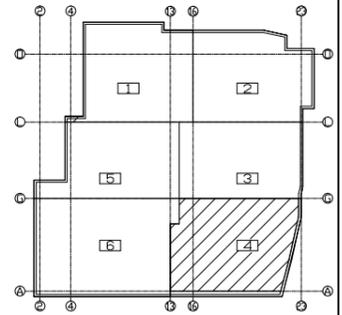
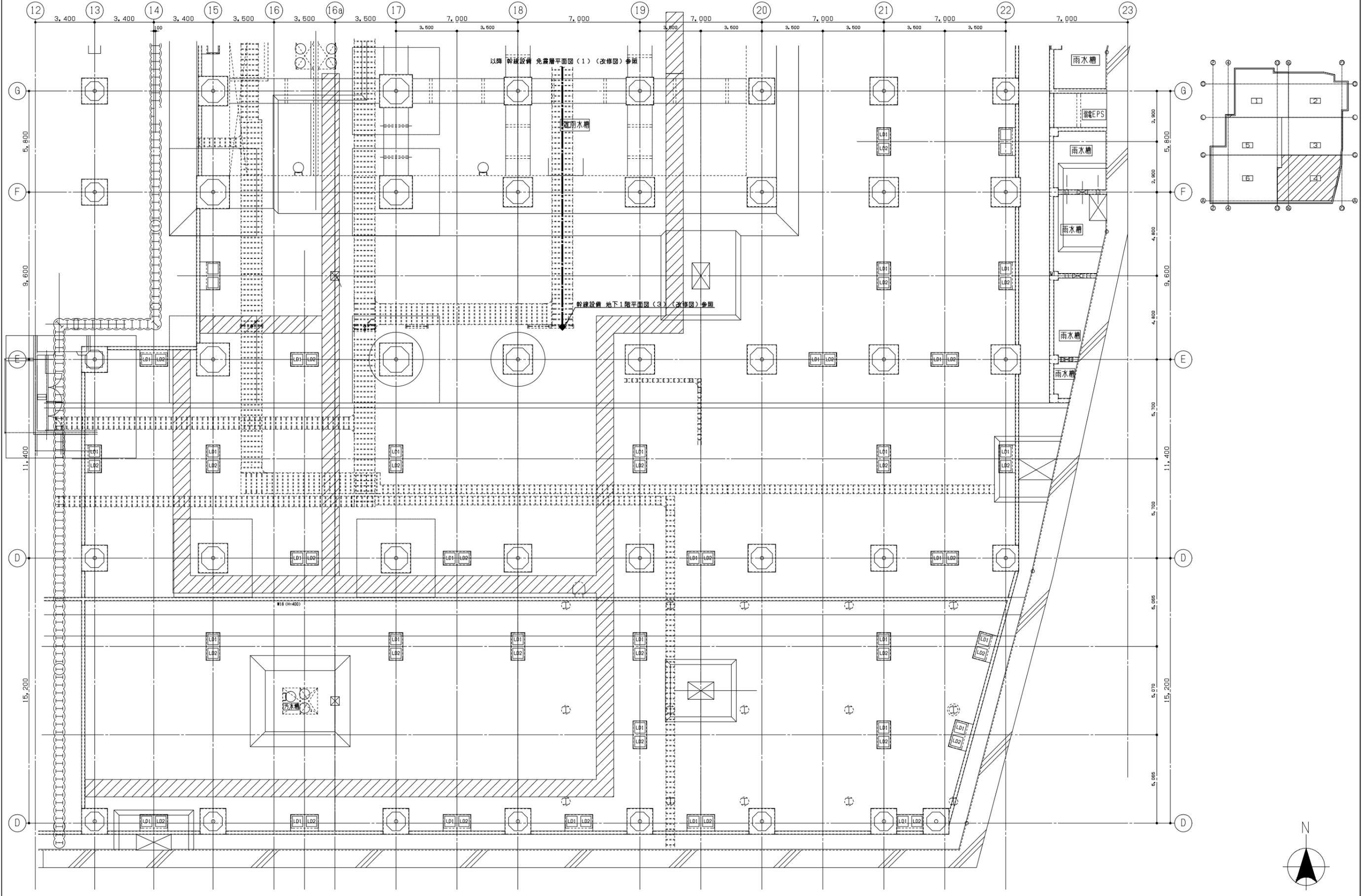
19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

幹線設備 免震層平面図(1)(改修図)

電 (通し番号 13)
5 - 1

A1:1/100
A3:1/200
No. J-170921-B



施工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

19.02.

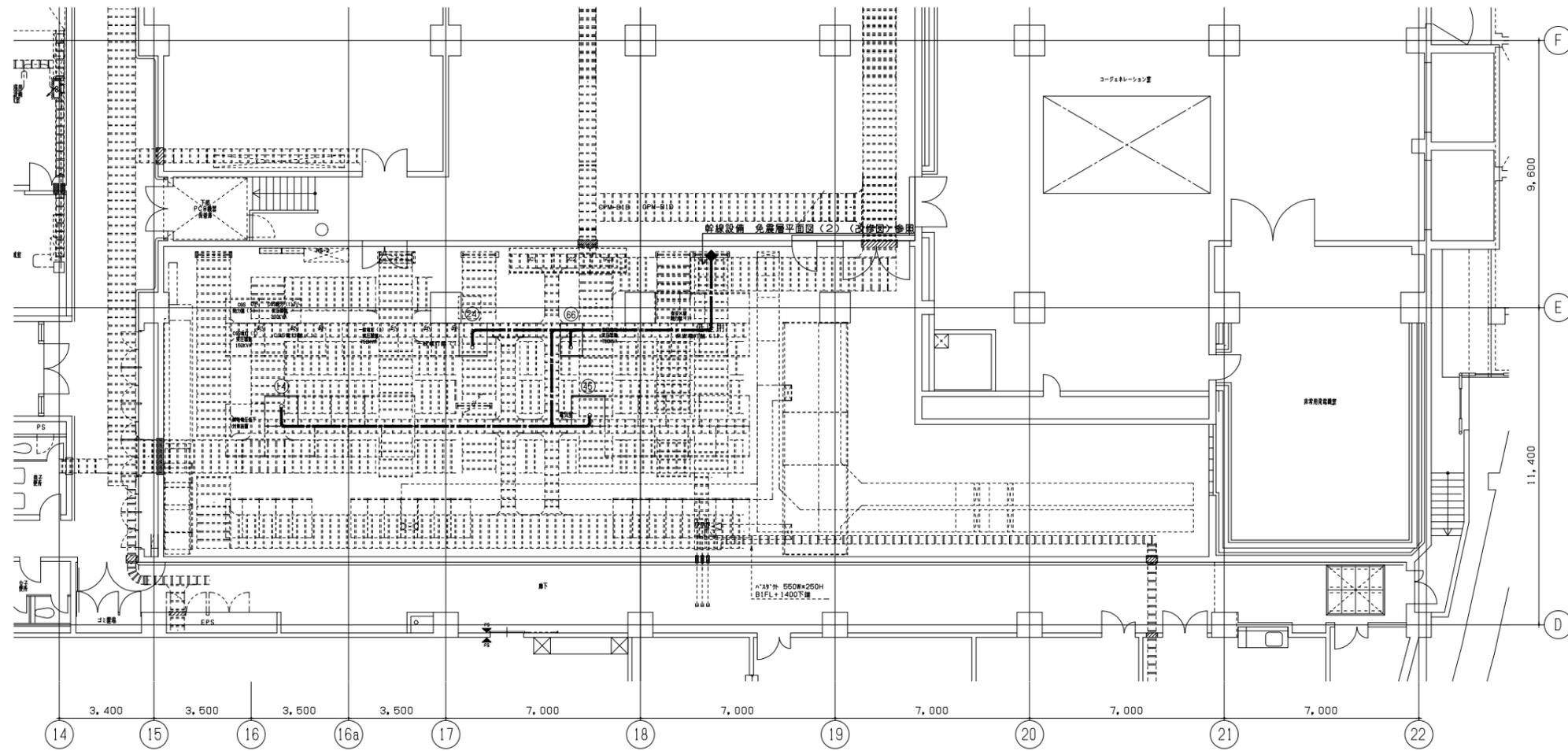
山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

幹線設備 免震層平面図(2) (改修図) A1:1/100
A3:1/200

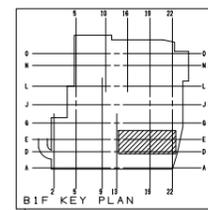
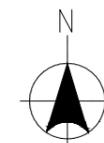
電 (通し番号 14)
5 - 2

No. J - 170921 - B

今回工事で改修する盤		
番号	名称	備考
⑭	一般動力MN7MCCB盤-3	
⑳	一般電灯MN5MCCB盤-3	
㉟	防災保安動力MG8MCCB盤-4	
㉞	保安電灯MG5MCCB盤-4	



(注記) 1.配線サイズは、幹線系統図参照とする。



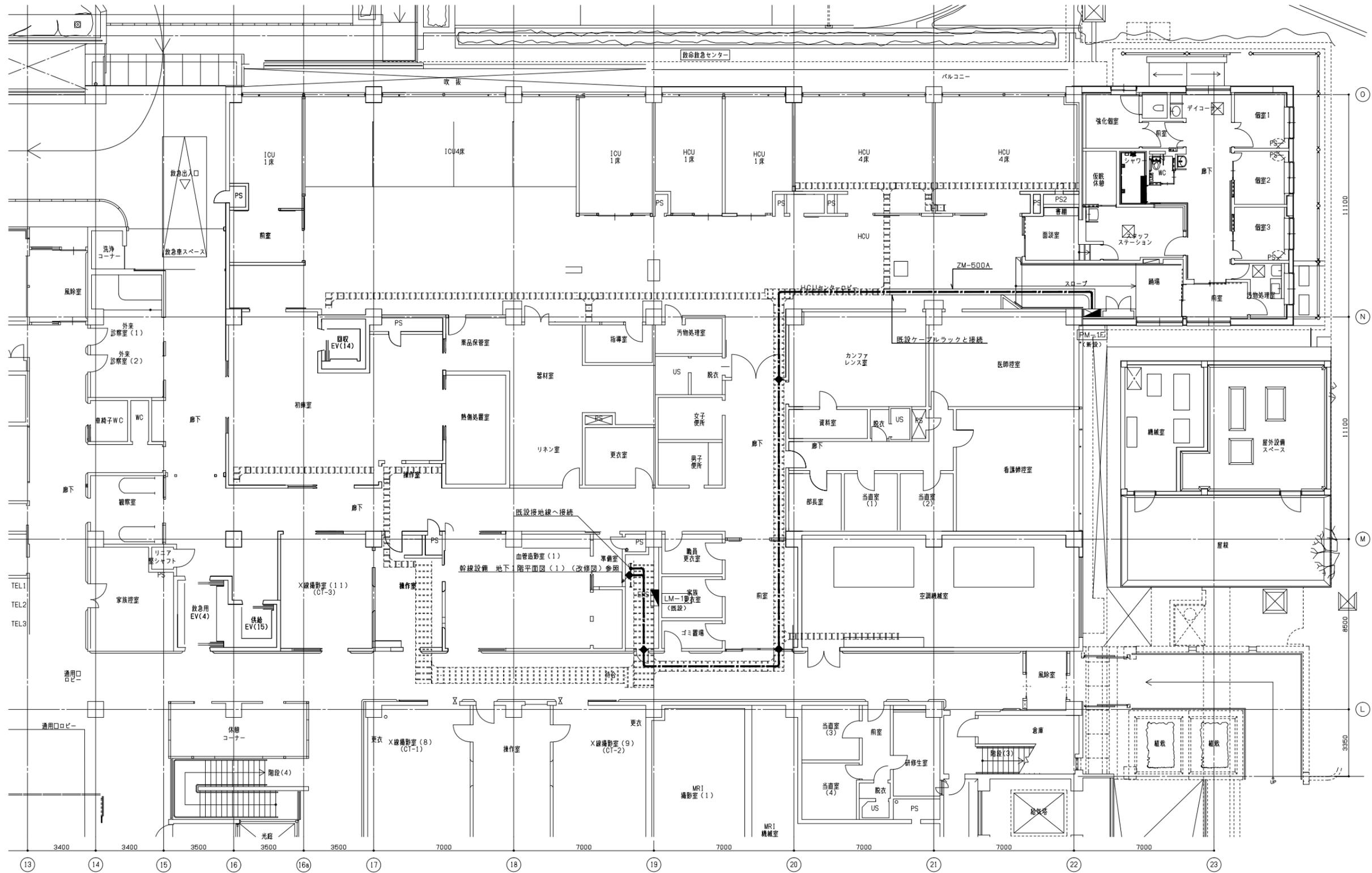
着工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

電 (通し番号 17)
5 - 5



(注記) 1.配線サイズは、幹線及び接地線系統図参照とする。



施工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

幹線設備 1階平面図(改修図)

☎ (通し番号 18)
5 - 6

A1:1/100
A3:1/200
No. J-170921-B

1	照明器具図	A1- A3-	(注記) 1. 寸法・姿図は参考とする。 2. 色温度は参考とし、決定は施工時に行う。
A	埋込下面開放	N	流し元灯
A206	LED 20,6W 2950lm LE(調光) 4000K, Ra83	N12	LED 12,0W 980lm LE(調光) 5000K, Ra83
a	埋込型ダウンライト	a	埋込型ダウンライト
a76	LED 7,6W 950lm LE(調光) 4000K, Ra85	a193	LED 19,3W 1725lm LZ(調光) 3500K, Ra95
a46	LED 4,6W 560lm LE(調光) 3500K, Ra85	aa76	LED 7,6W 955lm LE(調光) 3500K, Ra85
AC100/200V <スタッフステーション、面談室>	AC100V <汚物処理室>	AC100/200V <個室、強化個室>	AC100/200V <トイレ、洗面他>
本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装)	カバー:プラスチック(乳白)	種:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)	種:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)
Panasonic XLX430PEWZ LE9 相当品	Panasonic LGB52085 LE1 相当品	Panasonic XND1000WW LE9 相当品	Panasonic XND2530WC LZ9 相当品
aa76	埋込型ダウンライト	ea66d	非常照明(天井埋込型)
LED 7,6W 935lm LE(調光) 3500K, Ra85	LED 6,6W (調光) 電源別置型	Xc2E	避難口誘導灯(天井埋込型)
AC100/200V <仮眠個室>	非常灯設定番号:LCLE-001	AC/DC100V	自己点検機能付
種:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)	本体:鋼板製	種:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)	種:アルミ製指定色仕上げ (ブラック)
Panasonic XND1000WW LE9 相当品	Panasonic NNF84605 相当品	Panasonic FA10356 LE1 相当品	基礎は本工事とする
器具取付高 2,1m 2,4m 2,6m 3,0m 4,0m 5,0m 6,0m	単体配置 A1 5,0m 5,1 5,2 5,2 5,1 4,9 4,4	直線配置 A2 12,1m 12,9 13,3 13,9 14,4 14,5 14,1	四角配置 A4 10,1m 10,9 11,4 12,3 13,8 14,5 14,1
ab76	埋込型ダウンライト	Zb	庭園灯(既設)
LED 7,6W 935lm LE(調光) 3500K, Ra85	FLR40W-1灯用	⑤	人感センサー(親機)
AC100/200V <仮眠個室>	種:アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)	定格電圧 ±24V 消費電流 20mA 検知方式 熱線レベル変化検知方式	
Panasonic XND1000WW LE9 相当品	Panasonic NNF84605 相当品	Panasonic FA10356 LE1 相当品	

基本記号	型式記号 型式補助記号 補助記号	型式記号 型式補助記号 補助記号	
補助記号	w 防雨型 m 防湿型 c 遮光型 s 人感センサー付 l リフター付	P バイブ吊 G ガード付 D 非常用照電(電池内蔵型) DL 非常用照電(電池外置型) DL 非常用照電(電池別置型)	
照明器具型式記号			
記号	型式	記号	
A	埋込下面開放	n	ダウンライト
B	埋込型カバー付	o	エバーレフト付
C	埋込型カバー付	p	水中照明
D	埋込型	q	シーリングダウンライト
E	防湿型	r	レンジフード用
F	遮光型	s	スポットライト
G	庭園灯	t	タスクライト
H	クリンフーズ用	u	遮断型リフター付
I	簡接照明用	v	ポードライト
J	建築照明	w	投光器
K	反射灯付	x	LED
L	片反射付	y	LED
M	階段通路誘導灯	z	LED
ランプ記号			
LED, OEL	LED一体型	FL	直管
LED	直管型LEDランプ	FLH	直管
LED	電球型LEDランプ	FLC	丸形
OEL	有機EL	FLI	ツイーン1
HID	HID	FL2	ツイーン2
H	高圧水銀灯	FL3	ツイーン3
MH	メタルハライドランプ	FL4	ツイーン4
CM	セラミックメタルハライドランプ	FL5	ツイーン5
NH	高圧ナトリウムランプ	FL6	ツイーン6
NL	低圧ナトリウムランプ	FL7	ツイーン7
LED制御装置、安定器特性			
LN	一般形	PH	一般形(高出力)
LX	初期照度補正形	PN	一般形(定格出力)
LX	連続調光形(調光下限値35%以下)	PR	一般形(定格出力)
LZ	連続調光形(調光下限値5%以下)	PK	初期照度補正形(高出力)
LE	出力固定	PJ	初期照度補正形(定格出力)

2	電灯・非常照明・誘導灯設備 1階平面図(撤去)	A1: 1/100 A3: 1/200
3	電灯・非常照明・誘導灯設備 1階平面図(改修)	A1: 1/100 A3: 1/200

(注記)
1. 図中、X印で示す照明器具・配線器具・配線は撤去とする。
2. 図中、「再」で示す機器は撤去・再取付とし、接続する配線は新設とする。
再取付器具に関する配線(再取付機器及び再取付機器・既設機器間)については、
既設回路・系統と同様とし、配線のみ新設すること。新設配線仕様は改修図凡例を参照とする。
3. 図中、△印で示す配線は残置とする。

(注記)
1. 図中、「再」で示す機器・配線は撤去・再取付とする。(清掃も含む)
2. 図中、細線で示す機器・配線は既設とする。
3. 図中、内△印で示す配線は既設配線を利用する。

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

照明器具図、電灯・非常照明・誘導灯設備
1階平面図(撤去・改修)

A1: 1/100
A3: 1/200

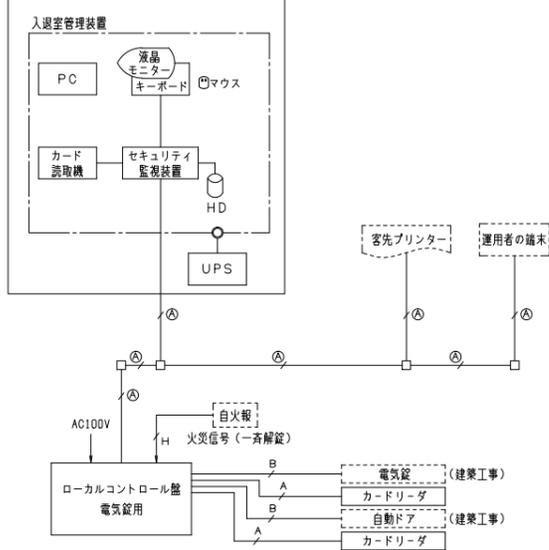
19.02.

電話 (通し番号 20) 6-1

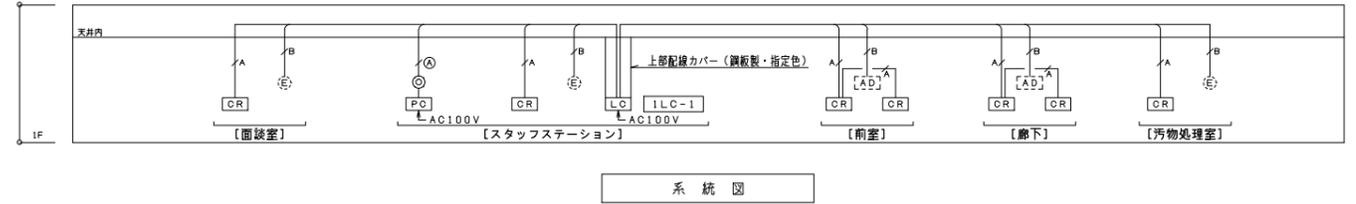
J-170921-B

1	入退室管理設備 機能仕様書	A1:- A3:-			3	カードリーダー機能仕様
1	システム概要					
2	機能仕様		<p>4. 操作</p> <p>(1) 通行モード切替操作 遠隔操作またはスケジュールにより施錠/解錠する電気錠扉に、運用に合せて以下の通行モードを設定できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動施錠モード 電気錠は常時施錠されており、入室時カード操作により解錠する。 扉を開けて通し、閉めると自動的に施錠する。 ・施錠解除繰り返しモード 入室時カード操作により解錠され、扉を開閉しても解錠を保持する。 退室時カード操作により施錠する。 ・入室時連続解錠モード スケジュール設定時刻以降又はモード設定以降の入室時カード操作により解錠する。 扉を開閉しても解錠を保持する。 また、モード終了時刻を設定することで元の運用に戻すことができる。 <p>(2) カードリーダーモード変更操作 カードリーダーがカード操作を受け付けない「停止」モードへの変更やその解除を行うことができる。 一覧画面から該当カードリーダーを選択することで制御が行える。</p> <p>(3) 警戒操作 各防犯区域に対して警戒セット/解除操作を行うことができる。 防犯区域一覧画面から当該区域を選択することで操作が行える。</p> <p>(4) 巡回/清掃操作 各防犯区域に対して巡回セット/解除操作あるいは、清掃セット/解除操作を行うことができる。 防犯区域一覧画面から当該区域を選択することで操作が行える。</p> <p>(5) 復旧操作 防犯警報や扉異常、設備警報などの警報・異常の発生後、状態が正常に戻っていることが現場確認された場合に、オペレーターにて復旧操作することで復旧が行える。</p> <p>5. 制御</p> <p>(1) 遠隔施錠/解錠制御 管理パソコンよりシステムに接続された電気錠の施錠/解錠を行う。 状態リストから当該電気錠を選択することで制御が行える。 管理点グループ毎にオペレーターの権限レベルにより制御可能/不可の設定が行える。</p> <p>(2) スケジュール制御 あらかじめ設定されたスケジュールに従って、以下の項目の内容を最大で10回/日、自動的に制御できる。 スケジュール設定は曜日毎のスケジュールと祝日などの特定日のスケジュールから構成され、特日カレンダーは2037年まで指定できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気錠の施錠/解錠（一回解錠、連続解錠） ・接点出力のON/OFF ・カードリーダーの停止/解除 ・カードリーダーの照合方式（カードのみ、カード+暗証番号入力）の変更 ・通行モード（自動施錠モード、施錠解除繰り返しモード、入室時連続解錠モード）の変更 ・カード毎のアクセス可能時間 <p>(3) スケジュール復帰 スケジュール制御中に制御内容とは異なる操作をした場合に、スケジュール復帰操作を行うことで、現在のスケジュール状態に戻すことができる。</p> <p>(4) カードリーダー連動 該当する部屋に複数のカードリーダー、電気錠が設定された場合、一つのカードリーダーから電気錠の施錠及び警戒セット/解除を行うと関連するカードリーダーは連動して電気錠の施錠及び警戒セット/解除を行う。</p> <p>(5) 他システム連動 他設備との接点信号授受により連動制御が可能。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 火災時電気錠一斉解錠 自火報設備からの火災入力信号（接点）により指定した電気錠の解錠を行う。 <p>(6) アンチバック 重要度の高い部屋の不正入退室を防ぐため、入室側と退室側に各々カードリーダーを設置し、正しく入退室操作が繰り返されなかった場合、入退室を許可しないことができる。 （例：正常入室→カード操作しない不正退出→次回入室できない） 1カードIDに対して、127扉/A/Bグループ×3A/Bグループ設定が可能。</p> <p>(7) ルートチェック 特定のドアを通過しないと次のドアで入室または退室できないように、入退室ルートを限定することができる。</p> <p>6. カード管理</p> <p>(1) カード登録 各カード毎にアクセス可能な部屋、場所の登録を行う。 システム管理者：全員のカード登録が可能（但し、オペレーターの権限レベルによる） 運用者：関連する部門のカード登録が可能（但し、オペレーターの権限レベルによる）</p> <p>(2) カード登録枚数と種類 登録枚数：最大8000枚 登録桁数：最大32桁 カード種類：下記カードから選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mifare (ISO14443 TypeA) ・eLWISSE (ISO14443 TypeB) ・FelIcA (専用フォーマット、Edy、FCF) <p>カード納入枚数：FelIcA (本工事にFelIcA 標準フォーマット 35枚を見込むこと) カードデザイン：メーカー標準デザイン</p> <p>(3) 客先カード対応サービス 下記の種類のカードどちらかの読み込みを可能とする。 A) システムコード+IDm：5種類 B) 客先フォーマット：5種類 AとB双方を読み込む場合は、合わせて5種類の対応を可能とする。 ★客先フォーマット対応はオプションとする。（お客様と協議の上決定）</p> <p>(4) 紛失カード登録 紛失したカードを紛失カードとして登録し、一時的にカード機能を無効にできる。 発見時には、登録を解除することで紛失前の状態に戻すことができる。 また、紛失カードが使用された場合は、紛失カード使用による警報を残すことができる。</p>	<p>(5) 無効カード登録 所持カードの携行を忘れるなどして、一時的に別カードを再発行したような場合において、元の所持カードを無効カードとして登録し、一時的にカード機能を無効にすることができる。 また、使用を再開したい時には、登録を解除することで、通常の使用可能な状態に戻すことができる。</p> <p>(6) カードデータ外部入出力 ・カードデータの取込み 指定フォーマットで作成及び暗号化されたカードデータ（CSV形式）を取込むことで一括登録/変更/削除ができる。 ・カードデータの出力 システムに登録されたカードデータを暗号化されたCSV形式での出力が行える。</p> <p>(7) カード検索 カード登録時に設定している使用者の氏名や所属、カード有効期限、カード状態（紛失や無効）、使用用途、備考を条件として、当該カードを検索することができる。 また、一定期間使用されていないカードを検索して一覧表示することができる。 それらのカードに対して選択して一括削除や無効カード登録を行うことができる。</p> <p>(8) アクセスタイム 入退室権限が付与された扉に対して入退室が可能となる時間帯を設定することを可能とする。</p> <p>(9) カード読取機 カード読取機をセキュリティ監視装置に接続して、カードの登録や検索を行うことができる。</p> <p>7. 履歴管理</p> <p>(1) 履歴保存 全履歴保存件数：最大30万件。 （オプションとしてFTPサーバーを準備することにより履歴を自動保存することができる。）（別途工事）</p> <p>(2) 履歴保存項目 以下のような履歴を全履歴として保存できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 警報履歴 防犯警報・設備警報・巡回/清掃警報・不良退室・紛失カード使用警報の履歴データを表示する。発生日時、場所、内容を表示する。 2. 巡回/清掃履歴 警戒状態・巡回/清掃状態・施錠状態の履歴データを表示する。 発生日時、場所、内容を表示する。 3. ゲート履歴 カードリーダー運用モード、施錠状態の履歴データを表示する。 発生日時、場所、内容を表示する。 4. カード操作履歴 カード操作の履歴データを表示する。 発生日時、場所、操作者、内容を表示する。 5. システム異常履歴 システム異常発生履歴データを表示する。 発生日時、場所、内容を表示する。 6. 画面操作履歴 画面での操作履歴を表示する。 発生日時、場所、内容を表示する。 <p>(3) 履歴検索 日時やイベント内容、ID、カードリーダーなどの項目により、履歴を検索することができる。 IDによる検索は、10IDまでの検索が一度に行える。 システム管理者：全履歴の確認・検索が可能（但し、オペレーターの権限レベルによる） 運用者：関連する部門の履歴確認・検索が可能（但し、オペレーターの権限レベルによる）</p> <p>(4) 履歴データ出力 日報・月報作成用として各履歴内容をCSV形式で出力が行える。</p> <p>(5) 履歴データ時番積 メンテナンスや何かしらの障害発生が原因で、WebI/Fとコントロール盤との通信ができなくなった場合は、コントロール盤内に履歴データを最大1、5万件保持し、通信復旧時に自動的にWebI/Fに送信できる。</p> <p>8. 印字</p> <p>(1) 印字（ロギングプリンター）機能：プリンター別途工事 履歴またはカード登録データなどの一覧画面の印字を行うことができる。 また、それぞれの検索印字を行うこともできる。</p>	<p><非接触ICカードリーダー></p> <p>1. 概要 非接触ICカードをカード読み取り部にかざし、カードデータの照合を行う。 登録されたカードであれば、電気錠の解錠/施錠を行う。</p> <p>2. 機能</p> <p>(1) 電気錠制御機能 非接触ICカードをカード読み取り部にかざし、許可されたカードであれば電気錠を解錠する。</p> <p>(2) 照合方式の選択機能 カードのみ</p> <p>(3) 施錠忘れ警報 室内の扉、窓などに設置したセンサーを組み合わせることで、最終退出操作時、施錠忘れをチェックし、警報を発することができる。</p> <p>(4) 二人認証 ICカードをもつ2名の照合で、入室または退室が行える。</p> <p>(5) グループ照合 カードから個人ID、グループID（企業コード等）を読み取り、グループIDがシステムに登録されている場合、個人IDが登録されていなくても関係者であると判断し、認証が行える。</p> <p>(6) カードリーダー運用変更機能 カードリーダーは本体とフェイスパネルの組み合わせで構成することで、将来のセキュリティレベルの変更時に本体交換を不要とし、フェイスパネルのみの交換で容易に運用変更が行える。 （例：テンキー無からテンキー付への変更可能）</p>	
<p>着工</p> <p>竣工</p> <p>監理</p> <p>施工</p>				<p>近藤 彰宏 一級建築士 玉野 和信 一級建築士</p> <p>日建設計</p> <p>19.02.</p>	<p>山梨県立中央病院 精神・身体合併症病棟増築工事</p> <p>Ⓣ (通し番号 22) 7 - 2</p> <p>入退室管理設備 機能仕様書</p> <p>A1:- A3:-</p> <p>№ J - 170921 - B</p>	

1F スタッフステーション設置



- ① : EM-UTP0.5-4P (CAT5e)
- A : EM-CPEE-S1.2-3P
EM-AE1.2-2C
- B : EM-AE0.9-5P
- H : EM-HP1.2-2C



記号	配管配線
①	EM-UTP0.5-4P (CAT5e) (PF16)
A	EM-CPEE-S1.2-3P (PF28) EM-AE1.2-2C (PF16)
B	EM-AE0.9-5P (PF22)

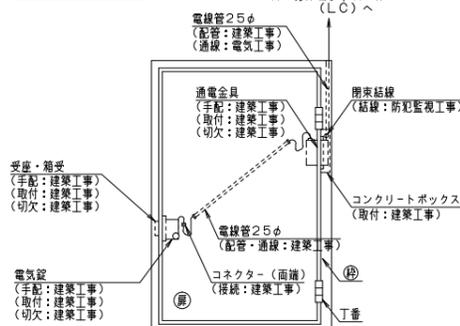
●二重天井内は配管不要とする。

記号	名称	備考
PC	入退室管理装置	
LC	ローカルコントロール盤	電気錠用
CR	非接触ICカードリーダ	
E	電気錠	(建築工事)
AD	自動ドア	(建築工事)
⊙	壁付アウトレット	四角中浅・通線チップ付

工事区分表

No	項目	建築工事	電気工事	入退室管理 設備工事	その他	備考
手配 区分	セキュリティ機器 (管理用パソコン、ローカルコントロール盤、 カードリーダ)			○		
	UPS			○		
	机、椅子				○	別途
	壁掛盤			○		
	電気錠、通電金具、自動ドア		○			
	非接触ICカードリーダ用 埋込ボックス			○		
	専用ボックス			○		
	非接触カード			○		
	セキュリティ機器の据付・結線・調整工事			○		
	壁掛盤の据付・結線・調整工事			○		
施 工 区 分	各カードリーダ取付の為の孔開・仕上げ工事		○			
	各カードリーダボックスの取付工事		○			
	電気錠、通電金具の取付・調整工事		○			
	自動ドア(制御盤含む)の取付・調整工事		○			
	電気錠取付の為のサツシの切欠工事		○			
	セキュリティ機器類	○				配管・配線工事
	結線工事			○		
	セキュリティ機器～端末機器 (カードリーダ、電気錠)用	○				配管・配線工事
	結線工事			○		
	UPS一次側電源工事		○			
セキュリティ機器～他設備間	○				配管・配線工事	
結線工事			○			
カードデータ登録				○		
システム単体調整、総合調整				○		

電気錠周辺工事区分



制御盤	制御階	カードリーダ	電気錠	自動ドア
LC-1	1F	7	3	2
合計		7	3	2

セキュリティ監視装置 レイアウト図

◆セキュリティ監視装置 (MIU)

項目	仕様
OS	Windows10Pro (64Bit)
メインメモリ	4GB
内蔵SSD	256GB (24時間365日運用対応)
質量	約5.9kg
最大消費電力	約102W
電源電圧	AC100V

◆カラー液晶ディスプレイ (17型)

項目	仕様
表示サイズ	17型
表示画素数	1280×1024 (SXGA)
質量	約3.9kg
最大表示電力	26W
最大電圧	AC100V

◆無停電電源装置 (UPS)

項目	仕様
電源電圧	AC100V
定格容量	1KVA (0.6KVA 10分)
使用環境	0~40°C (結露なきこと)
質量	約13.5kg

項目	仕様
定格	AC100V 50/60Hz
材質	SPOC 扉・面体 t=1.2
停電補償	10分間

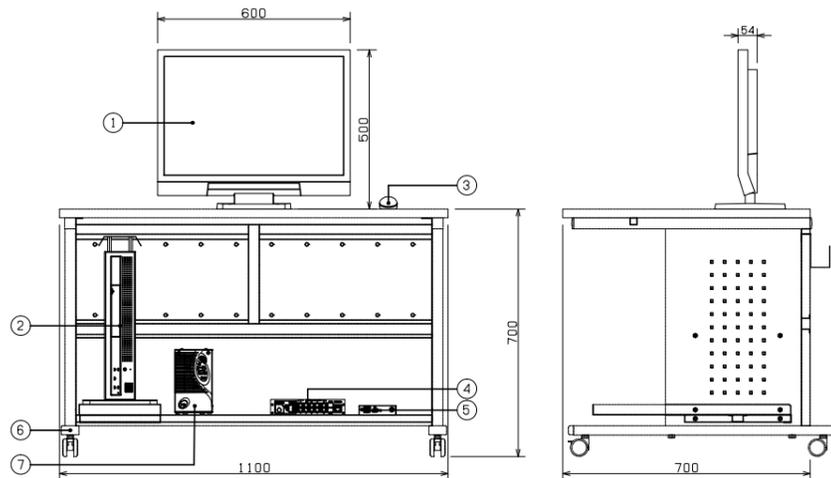
項目	仕様
電源	DC24V (DC17.6V~28.8V)
消費電流	最大300mA
LED表示	電源(緑)、受信(緑)、解除(緑)、エラー(赤)、警報(赤)
設置環境	屋内
使用環境	-10°C~+40°C (値し、結露なきこと)
適合ボックス	樹脂製埋込スイッチボックス(2層用)
色調	ホワイトまたはダークグレー
対応カード	FeliCa, MiFare, eLWISSE

1	機器仕様	A1:- A3:-	2	機器姿図	A1:- A3:-
1	システム概要		ITV	ITV機器	

1. 概要
- ・防犯監視用として監視カメラを設置する。
 - ・監視カメラシステムはネットワークで構築され、センター装置にて総合監視を行う。
2. 機能
- ・すべてのカメラ映像は、ネットワークディスクレコーダーに録画するものとし、圧縮効率が高いH.265方式での記録が可能。
 - ・ネットワークディスクレコーダーはカメラの接続数に応じて、4台、9台、16台、24台まで段階的に拡張できる機能を有すること。
 - ・ネットワークディスクレコーダーは映像出力端子を搭載し、映像出力ができること。
3. 監視
- ・ライブ映像は、圧縮方式：H.265またはH.264、通信方式：ユニキャストにて行うこと。
 - ・操作画面でカメラ映像を最大16画面分割で表示できること。
 - ・また、全画面表示に切り替えると最大24画面分割に切り替えて表示ができること。
4. 録画
- ・録画映像は、圧縮方式：H.265またはH.264、通信方式：ユニキャストにて行うこと。
 - ・指定したフレームレートで記録できること。
 - ・保存可能容量を超えた録画映像は、古いものから自動的に上書きされること。
5. 操作
- ・再生操作は録画中でも録画を止めることなく行えること。
 - ・操作画面上で録画映像を1画面と最大4画面分割で再生できること。
 - ・操作画面にカレンダー、タイムラインを表示し、それらにより録画映像を検索できること。
 - ・またタイムライン上にマウスカーソルを重ねると、その時間の映像がタイムライン上に表示されること。
 - ・録画映像をUSB等の外部記録媒体にコピーできること。
 - ・録画映像のダウンロードデータにパスワード及び改ざん検出コードを付与、設定できること。
 - ・ネットワークディスクレコーダーに操作マウス用USB端子を搭載し、パソコンを使用せずに監視カメラシステムを運用できること。
 - ・サムネイルサーチ機能により、選択したカメラの指定時間を始点として5分、15分、30分、1時間、2時間単位ごとに12枚の画像サムネイル表示ができ、映像変化点の検索が容易にできること。

6. 録画時間計算例

カメラ台数	圧縮方式	HDD容量	冗長化	解像度	画質	録画枚数/秒 (カメラ1台当り)	1日当録画時間	録画保存日数
5台	H.265	2TB	なし	SXVGA	SF	5	24時間連続	30日程度以上



<構成>

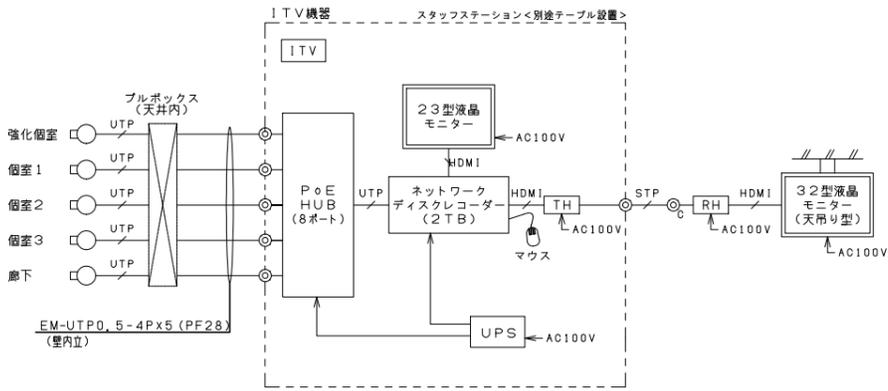
番号	名称	員数	備考
①	23型液晶モニター	1	
②	ネットワークディスクレコーダー	1	
③	マウス	1	
④	PoE HUB (8ポート)	1	
⑤	HDMIツイストペアケーブル送信器	1	
⑥	テーブル (別途)	1	
⑦	UPS	1	

<定格>

① 23型液晶モニター	
液晶パネル	TN (ノングレア) 23型
推奨解像度	1920×1080
最大表示色	約1677万色
入力端子	D-Sub 15P, DVI-D, HDMI x2
スピーカー	ステレオミニジャック
② ネットワークディスクレコーダー	
カメラ接続台数	4台 (9台/12台/16台/24台:カメラ拡張キット (別売) 登録時)
録画圧縮方式	H.265 (対応カメラ接続時)、H.264、JPEG
HDD/DVD	2TB (2TBx1) / DVDドライブx1 (DVD-R, +R 対応)
入出力	映像出力端子: 1. モニター端子: 2 (HDMI)、音声出力端子: 1. マウス端子: 2 *マウス1番付風、USBポート: 2 (USB3.0)、アラーム/コントロール端子A・B: 各1 (端子台プラグ)、カメラ/PCポート・PCポート: 各1 (RJ-45)
モニター端子 解像度 (最大)	HxV: 3840x2160 (4K) 60Hz, 47:1920x1080 60Hz
特長 (機能)	画質調整機能、録画動作・録画設定、外部HDD・USBメモリーコピー可能、セキュア通信 (拡張キット (別売) 登録時)、MP4ダウンロード、顔検出・統計処理 (拡張キット (別売) 登録時)、画像回転、VMD時短再生 (VMD搭載カメラのみ)
その他	ラックマウント 全具共

④ PoE HUB (8ポート)	
ポート数	10BASE-T / 100BASE-TX x8
	10/100/1000BASE-T x2 (SFPと選択使用)
給電機能	15.4W (ポート1-8) 最大給電12.4W
電源 (消費電力)	AC100V, 50/60Hz (最大161W/最小10.6W)
その他	ラックマウント 全具共
⑤ HDMIツイストペアケーブル送信器	
入力信号	TMD5 シングルリンク HDCP対応 (パススルー)、RS-232C信号、LAN信号
ドットクロック	25MHz ~ 165MHz
対応解像度	VGA ~ 4K @ 30Hz、480i ~ 1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 最大100m
機能	伝送遅延 (10µs以内/100m)、入力信号状態確認用LED搭載、パススルー、ACアダプタ接続部ロック機構搭載
その他	ラックマウント 全具共
⑦ UPS	
電源	AC100V
停電保障時間	10分間
使用環境	0 ~ 40℃ (結露なきこと)

2. ITV設備 システムブロック図

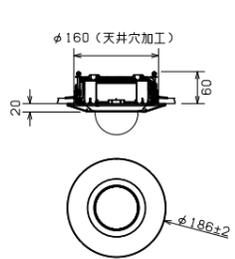


- ◎ : 壁付アウトレット (四角中浅・通線チップ付)
- ◎c : 天井付アウトレット (四角中浅・通線チップ付)
- [RH] : HDMIツイストペアケーブル受信器
- [TH] : HDMIツイストペアケーブル送信器

凡例

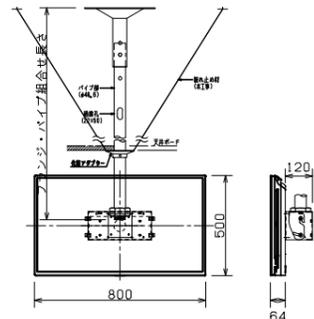
UTP	EM-UTP0.5-4P (PF16)
STP	EM-STP0.5-4P (PF16)
HDMI	HDMIケーブル

ドームネットワークカメラ (天井埋込金具付)



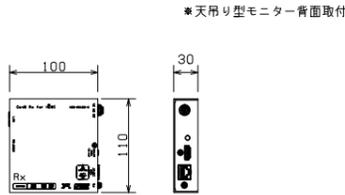
電源	PoE (IEEE802.3af準拠)
撮像素子・有効画素数・走査方式	約1/3型 MOSセンサー・約240万画素・プログレッシブ
最低照度	カラー: 0.012lx、白黒: 0.01lx (F1.6)
ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX, RJ45コネクタ
画像解像度	2M [16:9] (H) 1920/1280/640/320 (30/60fps) (eF) 3M [4:3] (H) 2048/1280/800/640/400/320 (30fps) (eF)
画像圧縮方式	H.265・H.264、JPEG *独立に4ストリーム分の配信設定可能
スマートコーディング	顔スマートコーディング、GOP制御
レンズ部	f=2, 8~10mm (3.6倍、手動ズーム/電動フォーカス)
セキュリティ	ユーザー認証/ホスト認証/HTTPS
機能	インテリジェントオート、スーパータイムミック、逆光/薄光補正、簡易白黒切替、画揺れ補正、VMD、AF
その他	天井埋込金具共

32型液晶モニター (天吊り型)



電源・消費電力	AC100V 50Hz / 60Hz 65W
画面サイズ・画素数	32V型 16:9 1920×1080画素
液晶パネル・バックライト	IPSパネル D-LED
輝度・コントラスト	350cd/m² 1400:1
入出力端子	ビデオ入力、HDMI入力、DVI-D入力、PC入力、音声入力/出力、外部制御端子、USB
質量	約5.3kg
ベゼル幅	T/R/L: 11.9mm, B: 17.2mm
設置方向・設置角度	横/縦 横: 前傾0~20度まで
備考	USBメディアプレイヤー、データローニング、マルチ画面
その他	天吊金具共

HDMIツイストペアケーブル受信器



電源	DC5V (専用ACアダプタ付)
出力信号	TMD5 シングルリンク HDCP対応 (パススルー)、RS-232C信号、LAN信号
ドットクロック	25MHz ~ 165MHz
対応解像度	VGA ~ 4K @ 30Hz、480i ~ 1080p
補償範囲	Cat6ケーブル: 最大100m
機能	伝送遅延 (10µs以内/100m)、入力信号状態確認用LED搭載、パススルー、ACアダプタ接続部ロック機構搭載

審工	
検工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

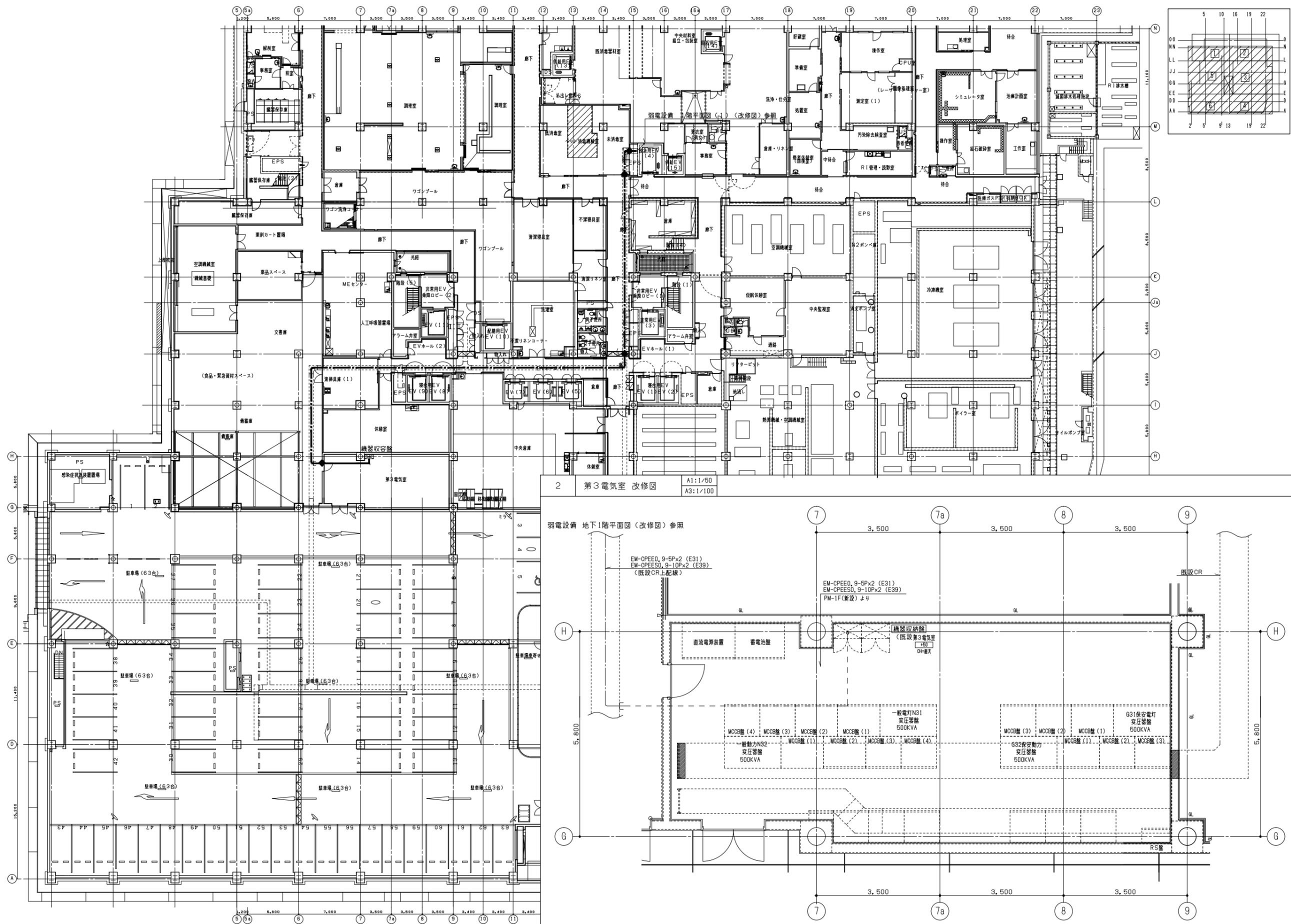
19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

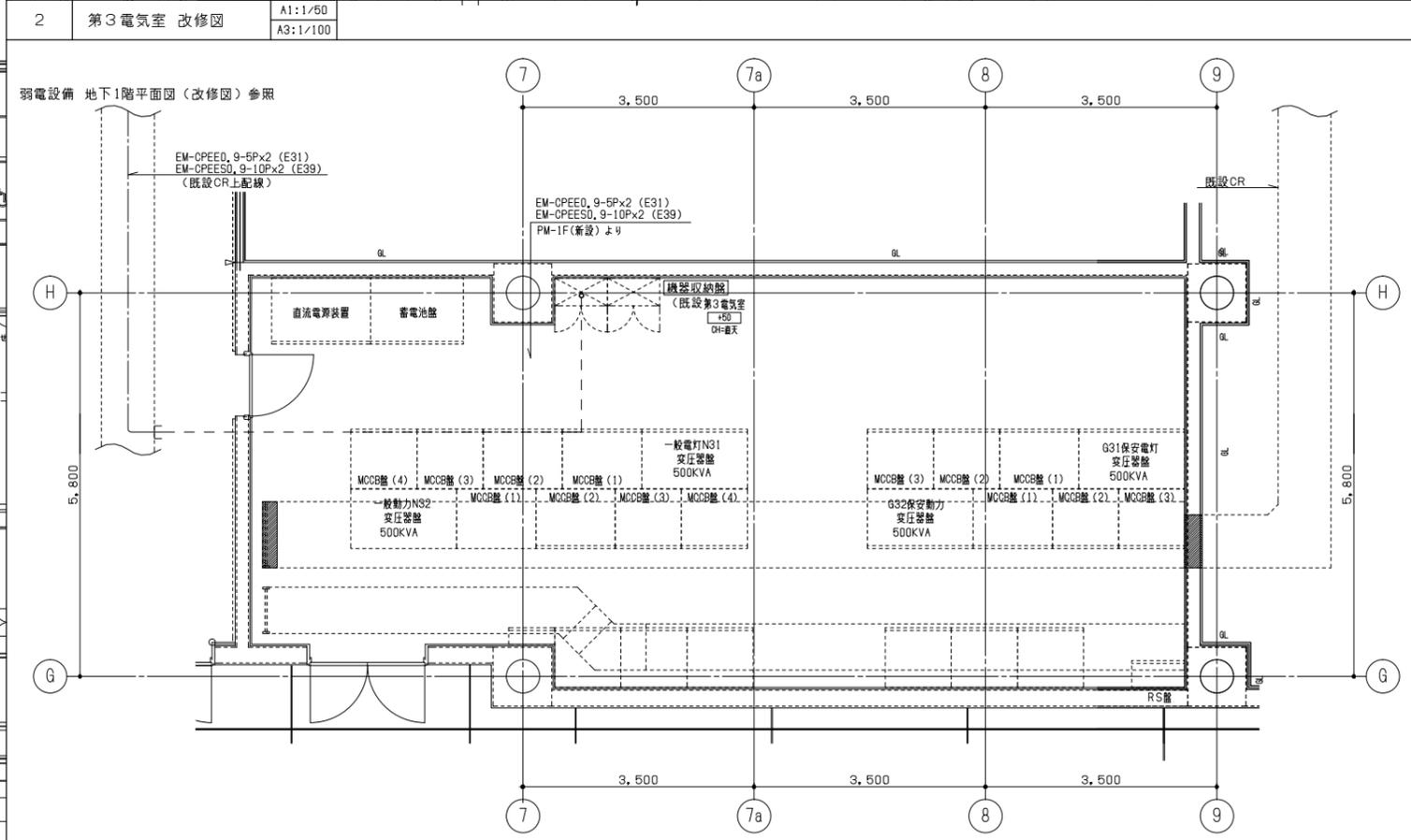
☎ (通し番号 24)
7-4

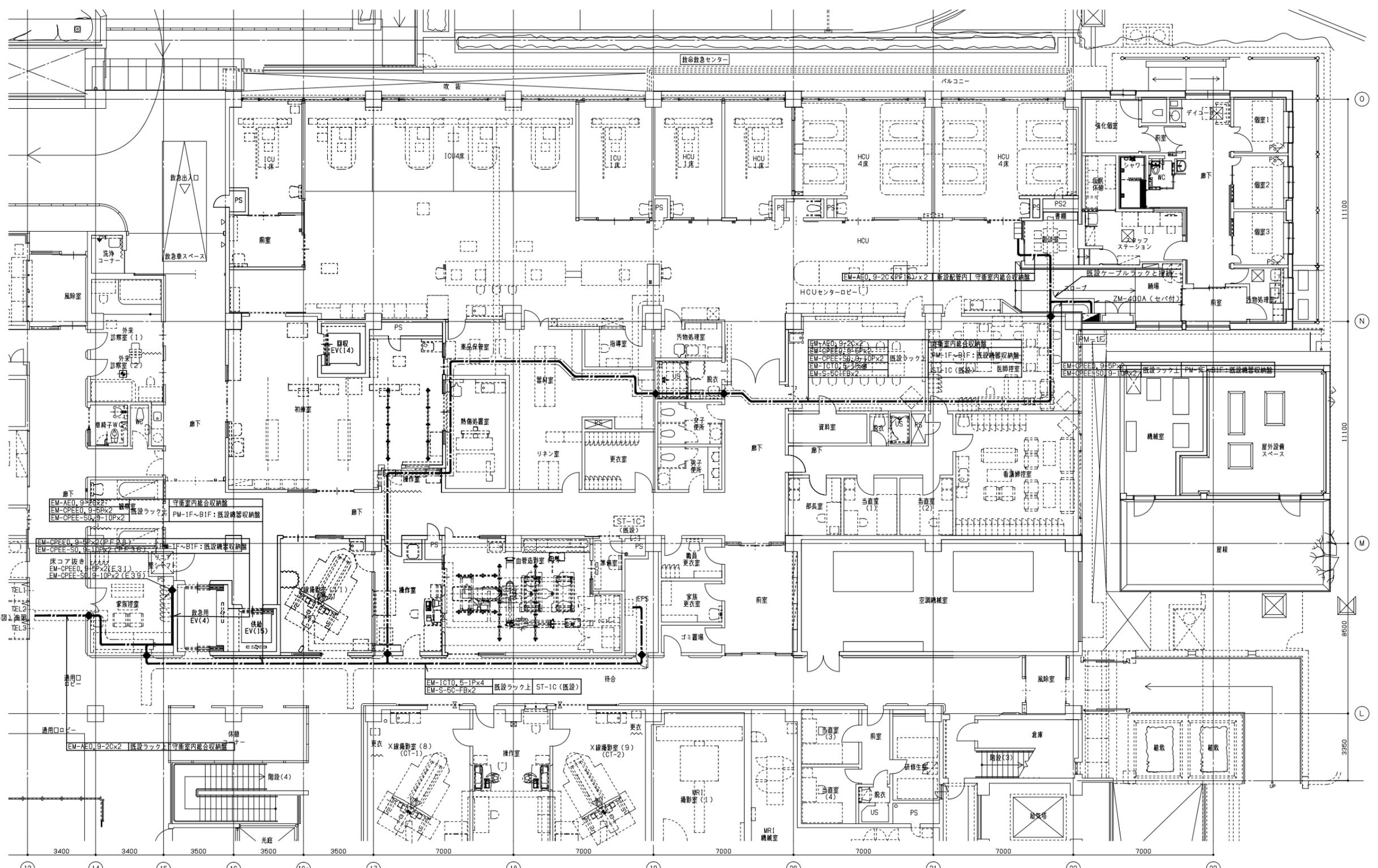
ITV設備
仕様・システム図・機器姿図

A1:-
A3:-
No. J-170921-B



審工	
検工	
監理	
施工	





着工	
竣工	
監理	
機工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

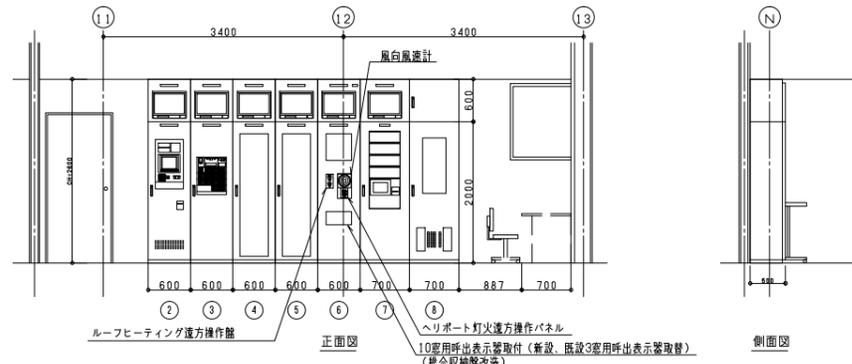
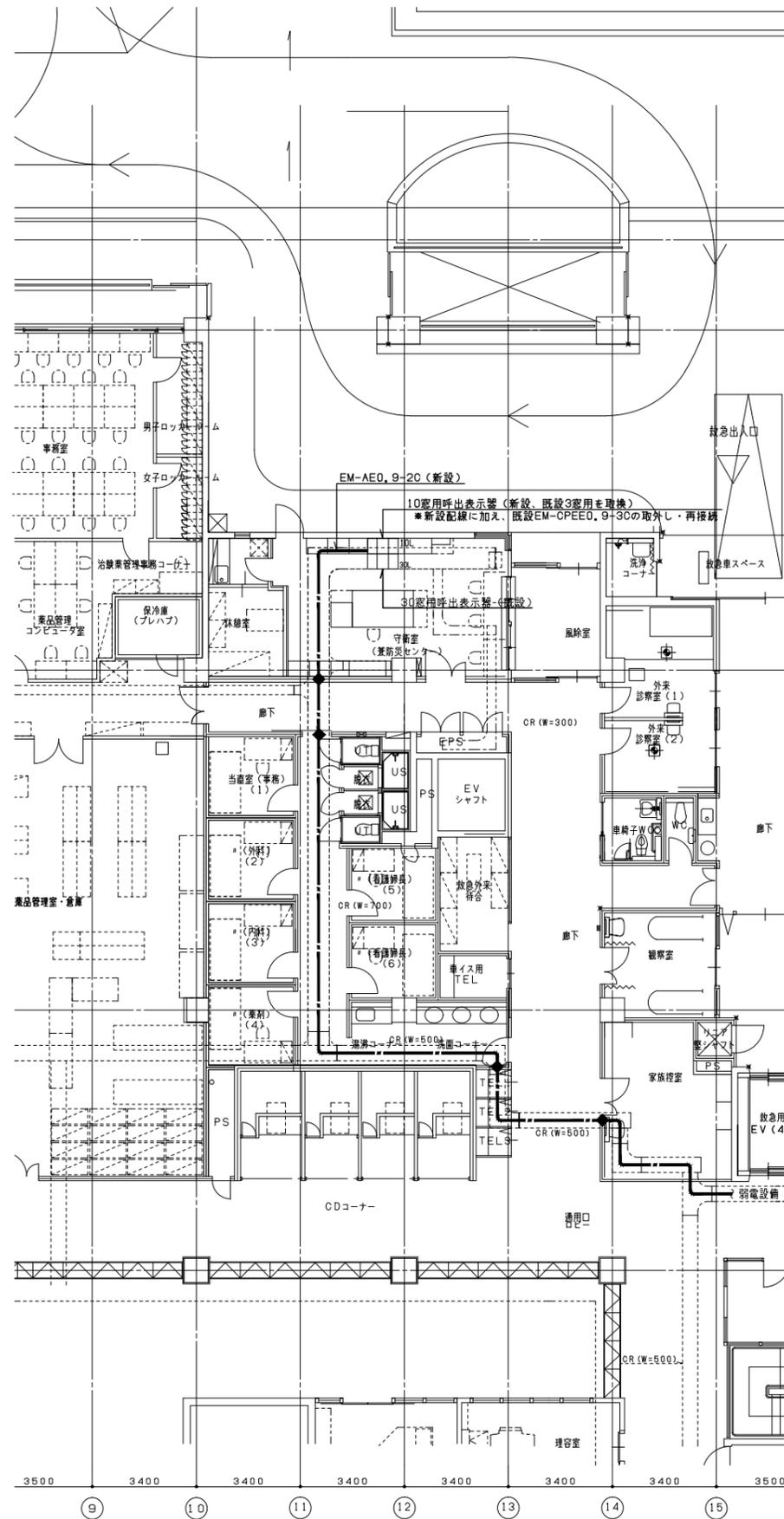
19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

弱電設備
1階平面図(1) (改修図)

電 (通し番号 26)
7 - 6

A1:1/100 A3:1/200 No. J-170921-B



総合収納機器表

No.	機器名称	収納サイズ	備考
②	GR受信機	600W×500D×2000H	既設
③	非常リモコン・ITV架	600W×500D×2000H	既設
④	ITV架	600W×500D×2000H	既設
⑤	ITV架	600W×500D×2000H	既設
⑥	30用呼出表示器	600W×500D×2000H	既設
	風向風速計		既設
	ヘリポート灯火遠方操作パネル		既設
	ルーフトレーディング遠方操作パネル		既設
	3用呼出表示器		撤去
	10用呼出表示器		新設
⑦	照明制御盤	700W×500D×2000H	既設
⑧	ELV監視盤	700W×500D×2000H	既設

(注記)

1. 新設10用呼出表示器用電源は既設30用呼出表示器と兼用する。
2. 呼出表示器更新に伴い、既設配線を新設10用呼出表示器に張り替えること。

審工	
検工	
監理	
施工	

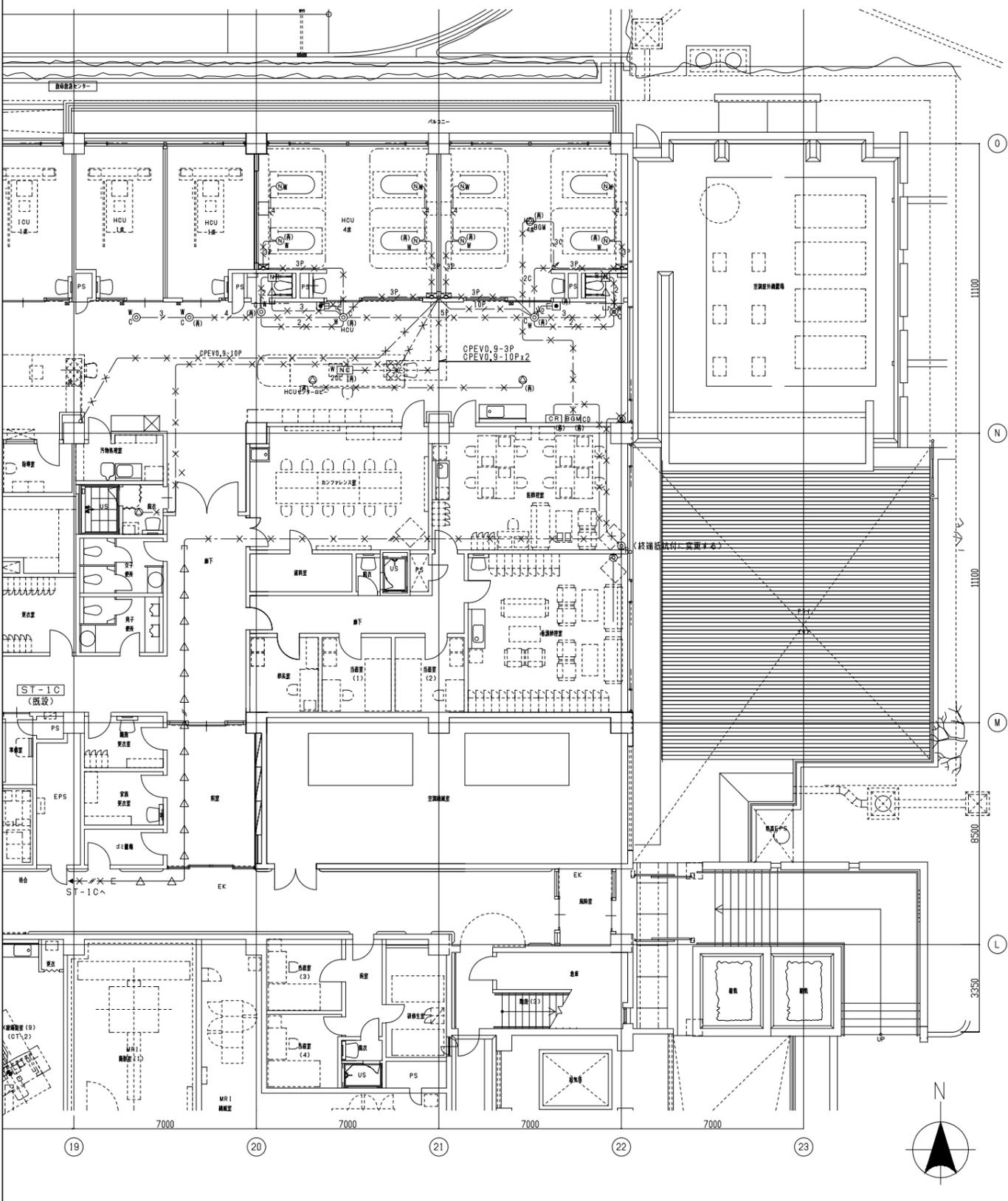
近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

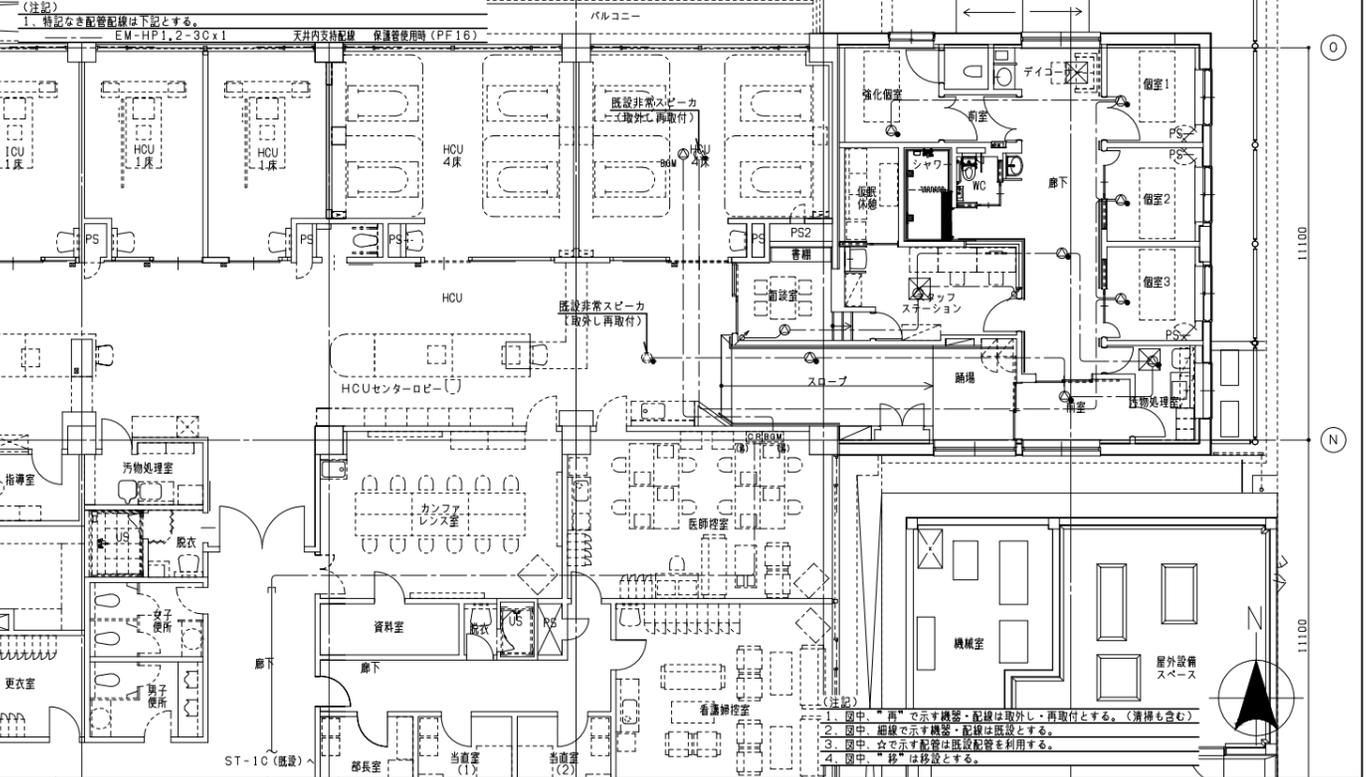
山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

☎ (通し番号 27)
7-7

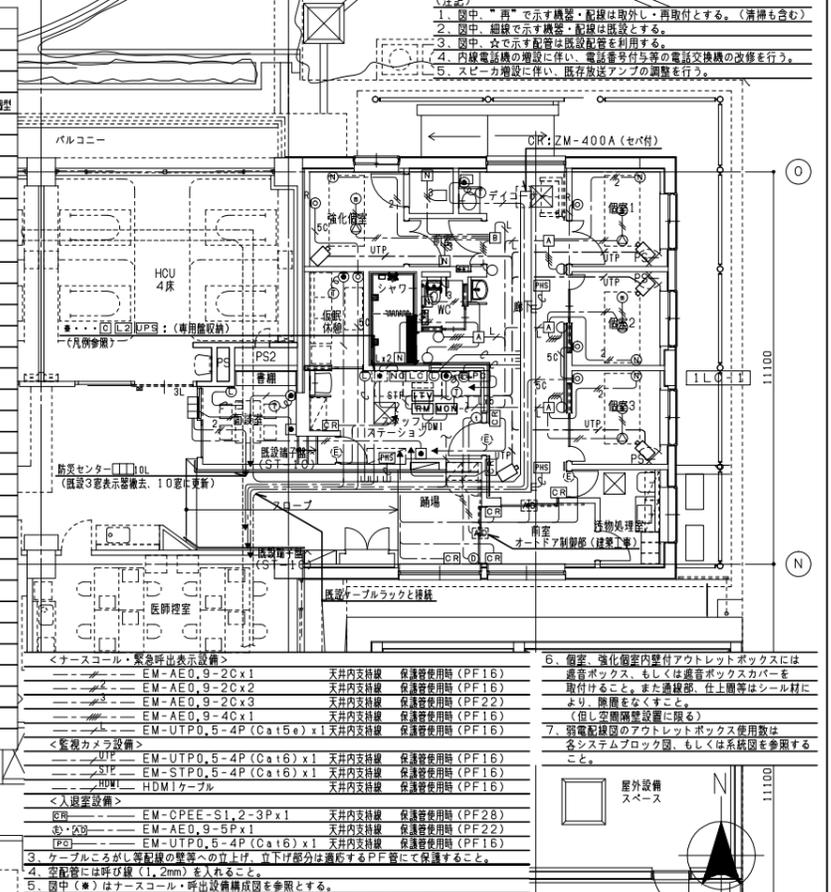
- (注記)
 1. 図中、X印で示す照明器具・配線器具・配線は撤去とする。
 2. 図中、"再"で示す機器は撤去・再取付とし、接続する配線は新設とする。
 3. 再取付器具に関する配線(再取付機器及び再取付機器・既設機器間)については、既設回路・系統と同様とし、配線のみ新設すること。新設配線仕様は改修図凡例を参照とする。
 4. 図中、"移"で示す機器は取外し・移設とする。
 5. 図中、△印で示す配管は残置とする。



- (凡例)
 記号 名称 備考
 ○ 天井埋込型スピーカ(ATIなし)
 ● 天井埋込型スピーカ(ATI付) 破線表記は既設を表す
 ▲ アツチネータ
- (注記)
 1. 特記なき配管配線は下記とする。
 EM-HPI,2-3Cx1 天井内支持配線 保護管使用時(PF16)



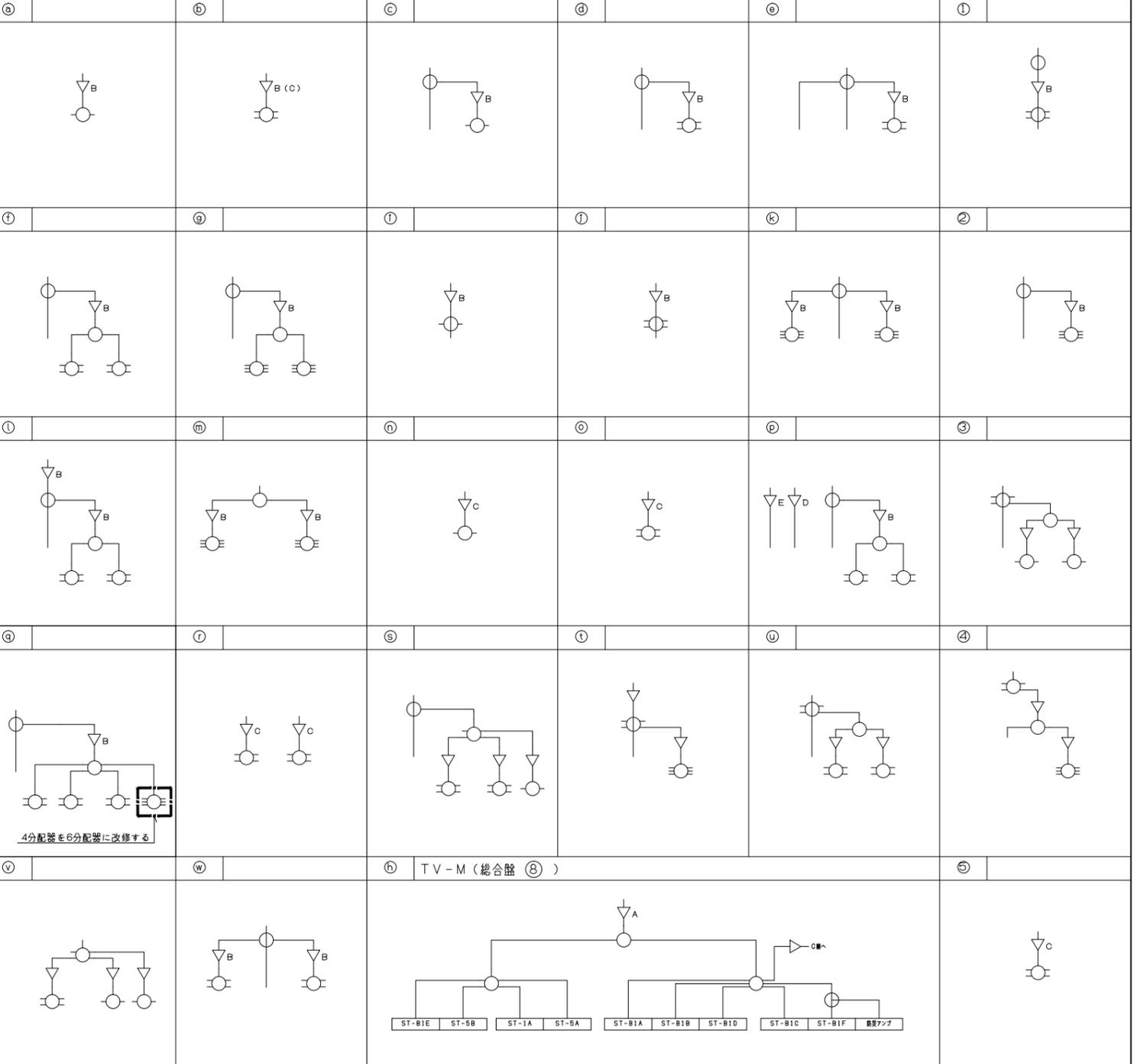
- (凡例)
 記号 名称 備考
 ○ 兼用アクトレックボックス(西角中流、ブラックプレート付) (機器は別途工事)
 ● 兼用アクトレックボックス(東角中流、ブラックプレート付) (機器は別途工事)
 ▲ PHS用アクトレックボックス(西角中流、ブラックプレート付)、天井内取付 (機器は別途工事)
- (注記)
 1. 特記なき配管配線は下記による。但し、ラック上及び二重天井内は配管内は不要とする。
 2. 特記なき配管配線は下記による。但し、ラック上及び二重天井内は配管内は不要とする。
 3. ケーブルはラック内へ吊り下げられ、吊り下げ部分は漏電するPF管にて保護すること。
 4. 配管には許容径(1.2mm)を入れること。
 5. 図中(●)はナースコール・呼出設備構成図を参照とする。



審工	
検工	
監理	
施工	

機名	端子盤										備考
	設備名	電圧	電線径	電線径							
ST-B1A	100P	30P	20P					5P	30P	①	
ST-B1B	110P	70P				15P		5P	30P	①	
ST-B1C	70P	30P	10P					5P	30P	①	
ST-B1D	50P	10P						5P	30P	①	
ST-B1E	60P	20P						5P	30P	①	
ST-B1F	30P	60P					5P	5P	30P	①	2期工事
ST-B1G	20P	20P	15P				5P	5P	30P	①	2期工事
ST-1A	120P	20P	40P				5P	20P	30P	①	
ST-1B	180P	60P	30P			15P	5P		30P	①	
ST-1C	180P	20P	10P				5P	20P	30P	①	改修
ST-1D	190P	20P	10P				10P	10P	30P	①	
ST-1E	50P	50P	30P			5P		5P	30P	②	2期工事 別途 延長用電線 20P
ST-1F	130P	20P	30P			5P	5P	10P	30P	③	2期工事 別途HUB接続 タクト形
ST-1G	50P										2期工事 別途HUB接続 タクト形
ST-1H	30P										
ST-2A	140P	20P	10P			5P		5P	30P	④	
ST-2B	260P	10P							30P	④	
ST-2C	100P	50P				20P	15P		30P	④	
ST-2D	320P	20P	20P				10P		30P	④	
ST-2E	110P	10P	10P				20P		30P	④	
ST-2F	30P	50P	5P			15P	20P	5P	30P	⑤	2期工事
ST-2G	200P	20P	30P			10P	10P		30P	⑤	2期工事
ST-2H	30P										
ST-2I	100P										
ST-2J	30P										
ST-3A	180P	50P	20P			10P	5P		30P	⑥	
ST-3B	140P	10P	40P				5P		30P	⑥	
ST-3C	70P	10P					10P		30P	⑥	
ST-3D	100P	40P	20P			10P	10P		30P	⑥	2期工事
ST-3E	20P	10P	10P			5P	5P	5P	30P	⑥	2期工事
ST-4A	190P	40P	20P			15P			30P	⑥	
ST-4B	100P	10P							30P	⑥	
ST-4C	100P	30P	10P			10P			30P	⑥	2期工事
ST-5A	180P	40P	30P			10P	5P		30P	⑥	
ST-5B	100P	30P	30P			10P	10P		30P	⑥	2期工事
ST-6A	180P	30P	20P			15P			30P	⑥	
ST-6B	100P	20P	20P			15P			30P	⑥	2期工事
ST-7A	190P	30P	10P			10P	5P		30P	⑥	
ST-7B	100P	20P	10P			10P	5P		30P	⑥	2期工事
ST-8A	180P	20P	20P			15P			30P	⑥	
ST-8B	100P	10P	30P			15P			30P	⑥	2期工事
ST-9A	180P	20P	10P			10P	5P		30P	⑥	ブースター2個分の予備スペース6号工事
ST-9B	100P	10P	20P			10P	5P		30P	④	2期工事 I TVアンテナ配線 (2機)
ST-9C									10P		
ST-10A	40P	20P							30P		
ST-10B	30P										通信機設置 1期工事
中継端子盤						10P					
TV-2A, B, C										⑦	
TV-3, 4, 5, 9A										⑦	
TV-5, 6, 7A										⑦	
TV-3~9B										⑦	
TV-8C										⑦	2期=1期
TV-3~7, 9C										⑦	2期=6期
TV-3~8D										⑦	2期=6期
TV-M										⑧	総合機 ⑧
配電盤1	30P										受容時保護電圧時 2期工事
配電盤2	100P										受容時保護電圧時 2期工事
C線システム増設改修工事	220P	30P				40P			100P		C線システム増設改修工事
D線システム増設改修工事	20P										D線システム増設改修工事
ST-2K	10P	5P				10P		5P			5P 備置予定責任区分

* コンセントは全て保安電源



3 凡例		- 機器は双方向性とする	
記号	名称	記号	名称
	高周波ブースター 出力 107/1124B (70/770MHz)		4分配器
	高周波ブースター 出力 103/1084B (70/770MHz)		1分配器
	高周波ブースター 出力 100/1044B (70/770MHz)		2分配器
	ブースター CS/BS-UV-VHF 304B		4分配器
	ブースター CS/BS-UV-VHF 304B		2分配器

審工	
竣工	
監理	
施工	

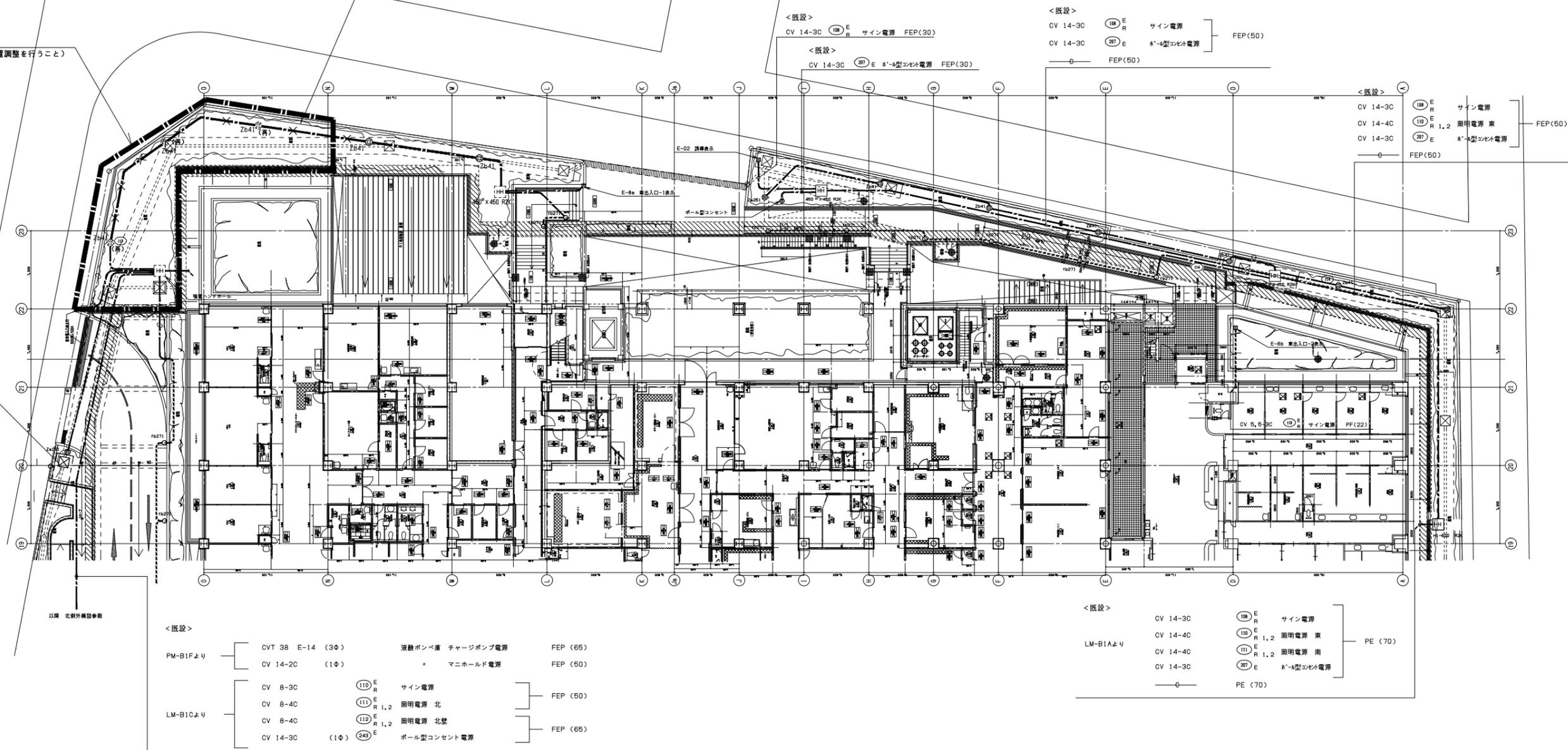
(注記)

- ①(再) は撤去後、指定場所へ保管(再取付時、清掃・再塗装を実施)
- 残置する配管配線は、余長の範囲内で作業に支障が無いよう位置調整を行うこと。

凡例	
① Zb41	ガーデンライト AF-2034 ※基礎：本工事
撤去：———	CV 5,5-4C FEP(30)
新設：———	EM-CE 5,5-4C FEP(30)

植栽+盛土撤去・復旧範囲
(特記なき限り、配管配線残置。但し位置調整を行うこと)

配管配線撤去(器具再取付時：配管配線新設)



着工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

電 (通し番号 30)
7 - 10

1階 東側屋外照明設備図

A1:1/200
A3:1/400

No. J-170921-B

記号	凡例	名称	備考	新設	既設
	総合機	総合機	(既設2295AD)		
IFH	インターフェイス盤	(既設)			
ET	非常電話制御盤	(既設)			
	表示機	仕様書注参照			
LM	主中継器盤	(既設)			
	中継器	(既設)			
AD	オートドア制御盤				
PO	パニックオープン制御装置	パニックオープン用			
	入退室管理盤	(設備工事)			
AMP	放送アンプ				
	中央監視盤				
	リニア搬送防災監視盤				
	ELV監視盤				
	中央集塵制御盤				
	電気錠制御盤				
	施設監視盤				
	機器収容箱	補助取水栓内蔵	○ 収容		
	機器収容箱	補助取水栓内蔵	○ 収容		
	機器収容箱	補助取水栓・連送併設型	○ 収容		
	機器収容箱	補助取水栓・連送併設型、防滴型	○ 収容		
	機器収容箱	露出型	○ 収容		
	機器収容箱	連結送水管内蔵	○ 収容		
	光電式スポット型感知器	2種、非番積型			
	光電式スポット型感知器	2種、非番積型、埋込型			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種、自動試験・自動感度補正機能付			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種、埋込型、自動試験・自動感度補正機能付			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種・3種、埋込型、自動試験・自動感度補正機能付			
	光電アナログ式スポット型感知器	2種、埋込型、自動試験・自動感度補正機能付、室外表示灯機能付			
	光電アナログ式スポット型感知器	3種、埋込型、自動試験・自動感度補正機能付			
	差動式スポット型感知器	2種			
	定温式スポット型感知器	1種、75℃			
	定温式スポット型感知器	1種、75℃、防水型			
	定温式スポット型感知器	特種、65℃			
	定温式スポット型感知器	特種、65℃、防水型			
	定温式スポット型感知器	特種、防水型、アナログ式、自動試験機能付			
	定温式スポット型感知器	特種、防水型、アナログ式、自動試験機能付、連動兼用			
	P型発信機	1級			
	P型発信機	1級、屋外型			
	表示灯	AC24V、LED			
	表示灯	AC24V、LED、防滴型			
	非常電話	話中音付			
	室外表示灯				
	アラームバルブ	スプリンクラー用			
	アラームバルブ	泡用			
	終端器	R伝送用			
	スプリンクラーポンプ制御盤				
	SPジョッキポンプ制御盤				
	泡消火ポンプ制御盤				
	N2制御盤				
	泡消火栓ポンプ制御盤	ヘリポート用			
	警戒区域番号	火災表示用			
	放出表示番号	スプリンクラー用			
	閉鎖表示番号	スプリンクラー用、閉止弁閉表示			
	放出表示番号	泡消火用			
	閉鎖表示番号	泡用、閉止弁閉表示			
	放出表示番号	N2用			
	報知区域番号	非常電話用			
	警戒区域線				
	自動閉鎖装置	防火戸用			
	自動閉鎖装置	防火シャッター用			
	自動降下装置	垂れ壁用			
	自動閉鎖装置	防火ダンパ用			
	自動開放装置				
	リミットスイッチ	DC24V、排煙窓用			
	手動開放装置	排煙口用			
	電子ブザー	防火シャッター降下警報用			
	連動中継器	タイマーリレー内蔵			

記号	凡例	名称	備考	新設	既設
SEF	排煙機制御盤				
	動作区域番号	自動試験感知器連動用			
	動作区域番号	防火戸、防火シャッター用			
	動作区域番号	防火ダンパ用			
	動作区域番号	排煙口用			
	動作区域番号	垂れ壁用			
	動作区域番号	排煙窓用			
	検知器	都市ガス用、DC24V、天井付			
	中継器	埋込型、n個用			
	緊急遮断弁	DC24V、低圧用			
	緊急遮断弁	DC24V、中圧用			
	警戒区域番号	ガス漏れ表示用			
	警戒区域番号	緊急遮断弁用			
	火災通報装置	仕様注参照			
	遠隔起動装置	壁掛型、電話機付			
	ケーブル配線	天井いんべい			
	配管配線	いんべい			
	配管配線	床いんべい			
	配管配線	露出配管			
	配管配線	立上げ引下げ			
	ジャンクション、プルボックス				

[注記]

- 今回工事概要について
 - 今回工事は既存エリア1階の増築に伴う、防災設備の新設・改修工事とする。
- 改修に伴う既設端末機器について下記の項目を行う
 - 工事エリアの防災設備を新設する。
 - 既設中継器盤の予備スペースに今回工事分の中継器ユニットを増設設置（追加）する。
- 改修に伴う既設総合操作盤について
 - 今回工事エリアの監視、制御は1階防災センター内の既設総合操作盤にて行い、下記の項目を行う。
 - 主中継器盤のデータ変更
 - 防災監視盤のデータ変更および画面変更等
 - 非常電話子機の増設に伴う、既設非常電話制御盤（電子交換式）100回線のデータ変更

1) 回線内訳:	撤去	新設
アドレス付感知器表示	- 1L	8L
火災表示（一般感知器）		1L

- 移転品点数内訳
 - 入退室管理盤へ（無電圧、n接点）
 - 火災代表番号 1L } -----中継器盤経由
- 防災監視盤の画面変更（2倍サイズ 1枚）
- 表示機仕様
 - 壁掛型、主音響・予備電源内蔵
 - 電源：AC100V、50/60Hz
 - 表示方式
 - カラーLCD表示へ火災発報、端末機器作動、ガス漏れ発報
 - アナログ感知器の注意発報
- 画面中の表現は下記とする。
 - 実線 --- 新設
 - 細線 ---- 既設
 - ---- 結線替え
- 感知器はすべて確認灯付とする。
- 警戒区域番号等は各階毎に示す。
- 系統図中のアドレス付感知器の表現は下記とする。
 - アドレス付感知器の個数を示す。
- 特記なき、配管配線は下記に示す。
 - 打ち込み 露出
 - (一般感知器) ---: EM-AE0, 9- 2C (PF16) (19)
 - (一般感知器) ---: EM-AE0, 9- 2C (PF16) (19)
 - (アドレス付感知器) ---: EM-HP1, 2- 2C (PF16) (19)
 - (アドレス付感知器) ---: EM-HP1, 2- 4C (PF16) (19)
 - : EM-HP1, 2- 2C (PF16) (19)
 - ---: EM-HP1, 2- 2C (PF16) (19)

EM-AE: 警報用エコマテリアルケーブル
EM-HP: 耐熱エコマテリアルケーブル

2重天井部分はケーブルこがし配線、直天井で打ち込み配管出来ない部分は露出配管配線とする。

- 下記の場所に設置する感知器は保護カバー付きとする。
 - 強化備室

施工	
竣工	
監理	
竣工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

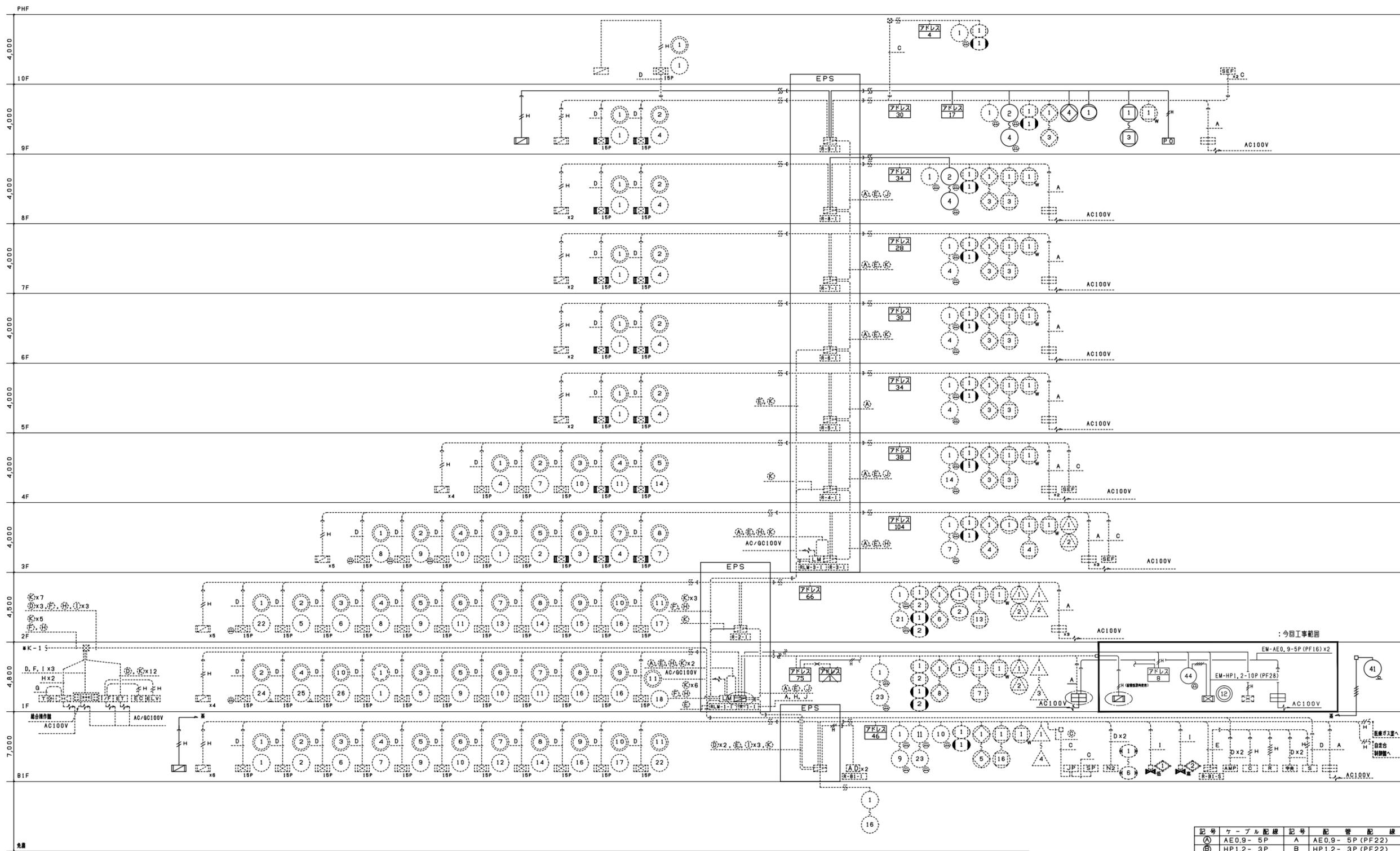
（通し番号 31）
8 - 1

19.02.

自動火災報知設備 凡例・注記 N・S

No. J - 170921 - B

780X670



記号	ケーブル配線	記号	配管配線	用途
Ⓐ	AE0.9-5P	A	AE0.9-5P (PF22)	R型表示機
Ⓑ	HP1.2-3P	B	HP1.2-3P (PF22)	端末機器
Ⓒ	HP1.2-5P	C	HP1.2-5P (PF22)	
Ⓓ	HP1.2-10P	D	HP1.2-10P (PF28)	主中継器～中継器 中継器～中継器
Ⓔ	HP1.2-3P HP1.6-10P	E	HP1.2-3P (PF22) [HP1.6-3P (PF28) x4]	
Ⓕ	HP1.2-3Px2 HP1.2-5Px2	F	[HP1.2-3P (PF22) x2] [HP1.2-5P (PF22) x2]	主中継器～主中継器 主中継器～受信機
Ⓖ	HP1.2-5P	G	HP1.2-5P (PF22)	火災通報装置
Ⓗ	HP1.2-10P	H	HP1.2-10P (PF28)	
Ⓘ	CVV8.0 ^R .4C	I	CVV8.0 ^R .4C (PF28)	緊急通報弁
Ⓚ	HP1.2-5P	J	HP1.2-5P (PF22)	非常電話
Ⓚ	HP1.2-10P	K	HP1.2-10P (PF28)	

※ 至る中継器R-B1-1へ

審工	
検工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

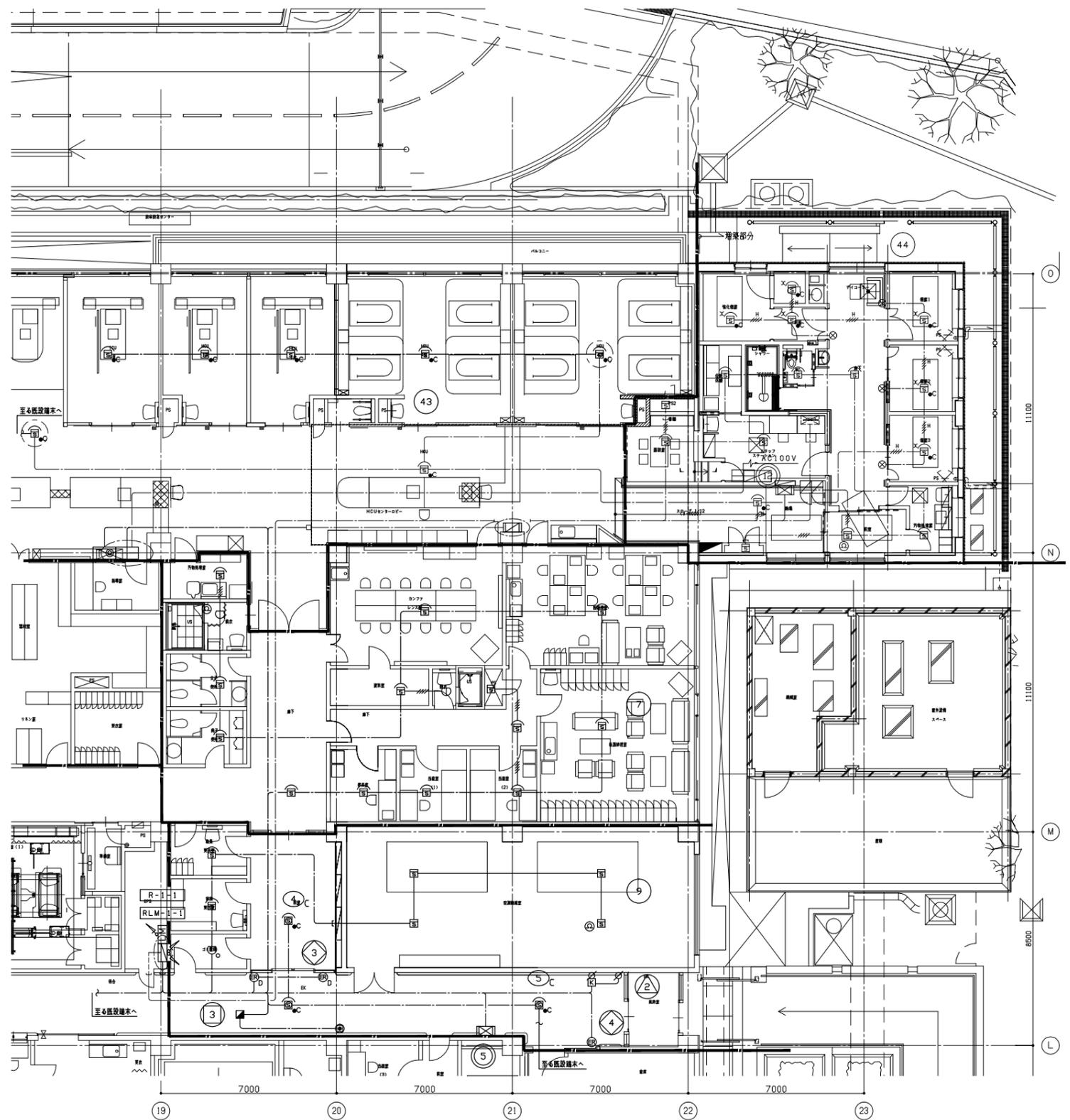
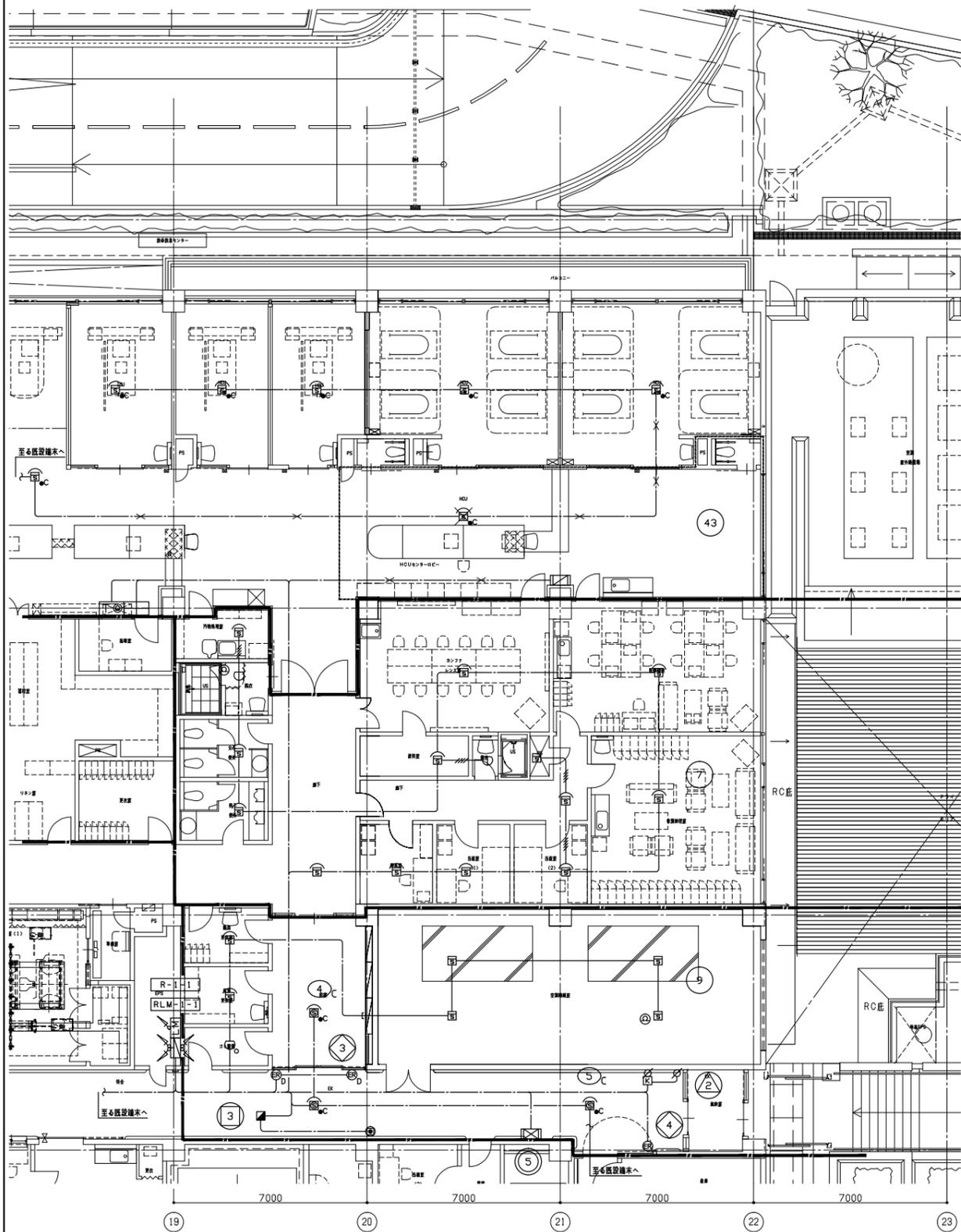
19.02.

自動火災報知設備 系統図

N・S

電 (通し番号 32)
8-2
No. J-170921-B

780X670



特記なき配管配線及び立上げ引下げの電線本数は系統図参照とする。

着工	
竣工	
監理	
施工	

近藤 彰宏 一級建築士
玉野 和信 一級建築士

日建設計

19.02.

山梨県立中央病院
精神・身体合併症病棟増築工事

電 (通し番号 34)
8 - 4

自動火災報知設備 1階平面図(撤去・改修) A1:1/100 A3:1/200

No. J - 170921 - B

780 X 670